

第16回 宇和島市・北宇和郡中学校総合体育大会

期 日 令和3年 6月2日(水)
3日(木)
4日(金)
(雨天決行 一部順延)

会 場

大会本部	宇和島市立城北中学校
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園
バスケットボール	宇和島市総合体育館
卓 球	鬼北総合公園
ソフトテニス	津島プレーランド
軟式野球	丸山公園野球場・宮下ふれあい広場
サッカー	丸山公園多目的グラウンド
柔 道	宇和島市総合体育館
剣 道	三間町国民体育館
体操競技(※1)	宇和島市総合体育館
テニス	鬼北総合公園
相撲	県立宇和島東高等学校津島分校

(※1) 6月4日(金)開催

主 催

宇 和 島 市 教 育 委 員 会
松 野 町 教 育 委 員 会
鬼 北 町 教 育 委 員 会
宇 和 島 市 中 学 校 体 育 連 盟
北 宇 和 郡 学 校 体 育

大 会 テ ー マ

君の夢 羽ばたけ 愛媛の青空へ

表彰担当者・競技開始時刻

競 技 名	会 場	表 彰 者	開場時刻	競技開始
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	毛利 正寛（松野）	9:10	10:00
バスケットボール	宇和島市総合体育館	片山 公善（三間）	8:00	9:15
卓 球	鬼北総合公園	中村 俊二（津島）	8:00	9:20
ソフトテニス	津島プレーランド	岡田 雅彦（日吉）	7:50	9:10
軟 式 野 球	丸山公園野球場	行定 永（広見）	8:00	9:30
	宮下ふれあい広場		8:00	9:30
サ ッ カ ー	丸山公園多目的広場	石止伊佐美（城北）	8:00	9:00
柔 道	宇和島市総合体育館	牛川 頼明（吉田）	8:00	10:10
剣 道	三間町国民体育館	中岡 生文（宇南）	8:00	9:15
体 操 競 技	宇和島市総合体育館	行定 永（広見）	13:00	14:00
テ ニ ス	鬼北総合公園	西田 一洋（城東）	7:50	8:40
相 撲	県立宇和島東高等学校 津島分校	宮本 洋二（城南）	8:30	10:10

※ 大会2日目の競技開始時刻

- 9 : 1 0 （ソフトテニス）
- 9 : 1 5 （バスケットボール）
- 9 : 2 0 （卓球）
- 9 : 3 0 （軟式野球・サッカー）
- 1 0 : 0 0 （バレーボール女子）

大会規定

競技者・指導者・役員は、スポーツマンとしての態度で終始する。各競技責任者並びに審判長は本大会規定違反者に対しては厳重に注意しなければならない。はなはだしい場合には大会委員会で審議の上、競技資格を認めない。

1 競技に関するもの

- (1) 競技は全て県総体規定並びに本大会競技規定によって行う。
- (2) 競技者・指導者・応援者はフェアプレーの精神を貫き、相手を中傷するような言動、判定への不当な抗議等は厳に慎み、敵・味方の区別なく、さわやかな声援を送る。
- (3) バレーボール男子、バスケットボール男女、サッカーの決勝、バレーボール女子、軟式野球の準決勝以降の試合は翌日実施とする。
- (4) ソフトテニス個人、卓球個人の試合は翌日実施とする。

2 出場資格に関するもの

- (1) 団体競技 1校1チーム
- (2) 個人競技
 - 卓 球 1校シングルス8名以内・ダブルス4ペア以内
 - ソフトテニス 1校5ペア以内
 - 柔 道 制限しない
 - 剣 道 1校10名以内
 - 体 操 競 技 制限しない
 - テ ニ ス 1校シングルス12名以内・ダブルス6ペア以内
 - 相 撲 制限しない
 - 陸 上 競 技 1校1種目3名以内。1人2種目以内（リレーは除く）。四種競技に出場する者も他の種目に出場することができる。リレーは1校1チーム。
 - 水 泳 競 技 1校1種目3名以内。1人2種目以内（リレーは除く）。
- (3) 1人が2競技以上に出場することはできない（ただし、陸上競技・水泳競技は除く）。
- (4) 外部指導者（コーチ）は、以下の12競技に限り校長の承認を得てベンチ入りすることができる。なお外部指導者（コーチ）証を必ず付けることとする。テクニカル・アドバイザーも同様の扱いとする。

○ バレーボール	○ ソフトテニス	○ サッカー	○ テ ニ ス
○ バスケットボール	○ 軟 式 野 球	○ 柔 道	○ 相 撲
○ 卓 球	○ ソフトボール	○ 体操競技	○ 水 泳 競 技
- (5) 卓球・体操競技の2競技に限り、複数の学校における外部指導者（コーチ）として登録できる。ただし、複数の競技における外部指導者（コーチ）としては登録できない。
- (6) 当該校以外の中学校の校長・教職員（行政関係は除く）は、外部指導者（コーチ）としての資格をもたない。ただし、「体操競技」は、選手の安全確保を目的として、当該校以外の中学校に勤務する教職員を「テクニカル・アドバイザー」として登録できる。
- (7) けが・病気等で出場できなくなった選手については、校長の承認を得て、大会当日の監督会議で変更届を提出すれば、変更を認める。（団体・ソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスのみ可）
- (8) 2校以上の合同チームは、県中体連の合同チーム編成規程により大会への参加を認める。

3 開閉会式に関するもの

開閉会式は、行わない。ただし、団体表彰のみ行う。

4 県総体出場資格に関するもの

競 技 名	団 体 出 場 数	個 人 出 場 数
バレーボール	男子4チーム以上→2 女子8チーム以上→2	
バスケットボール	男女とも8チーム以上→2	
卓 球	男女とも6チーム以上→2	シングルス→8 ダブルス→4
ソフトテニス	男女とも7チーム以上→2	個人→8
軟 式 野 球	7チーム以上→2	
ソフトボール	5チーム以上→2	
サ ッ カ ー	6チーム以上→2	
柔 道	男子5チーム以上→3 女子フリー	男子 団体出場数+1→4 女子 4
剣 道	男女とも5チーム以上→2	男子 8 女子 4
体 操 競 技	全チーム	上位12
テ ニ ス	男女ともフリー	シングルス16 ダブルス8
相 撲	4	上位4

○ 陸上競技 各種目2位以内の選手(チーム)及び県標準記録を突破した上位5選手(チーム)以内。

○ 水泳競技 各種目1位の選手(チーム)及び県標準記録を突破した選手(チーム)
800m・1500mは県標準記録を突破しなければならない。

※ 柔道・剣道・相撲は順位決定戦を行う(ただし、剣道は3位決定戦のみ)。

5 表彰に関するもの

- (1) 団体競技1位校には優勝杯と学校及び登録選手全員に賞状を授与する。2位校には賞状を授与する。
- (2) 個人競技は、3位までの入賞者に賞状を授与する。
- (3) 陸上競技・水泳競技のリレーは、1位は全員に、2位はチームに1枚賞状を授与する。

6 感染症対策に関するもの

- (1) 参加チームの全選手・補助員は、大会前日までに参加同意書を校長に提出する。
- (2) 参加チームの全選手・補助員は、2週間分の体温を記録した体調記録表を顧問に提出する。
顧問は、学校同行者体調記録表を大会本部(競技責任者)に提出する。
- (3) 次に該当する場合は大会への参加・観戦を見合わせる。
 - ・ 体調不良の場合、体調がよくない場合(37.5℃以上の発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・ 家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症が疑われる方がいる場合
 - ・ 海外や感染拡大地域等から来県・帰県し、2週間経過していない方、またその方との濃厚接触がある場合
- (4) 会場では、競技する選手以外は、原則マスク等を着用する。ただし、競技の特性上、マスク等を着用しない場合がある。
- (5) タオルやドリンク等の共用はしない。

7 その他

- (1) 組合せ抽選は、第2回市郡中学校体育研修会において各校理事の責任抽選とする。
- (2) 競技責任者は大会終了後、大会結果を大会本部（城北中学校）まで報告する。
- (3) 団体競技の規定数は次のとおりとする。ただし、マネージャーは生徒に限る。

バレーボール【12+①】

バスケットボール【15+①】

卓球【8】

ソフトテニス【8】

軟式野球【20】

ソフトボール【18】

サッカー【18】

柔道男子【7】

柔道女子【4】

剣道【7】

体操競技【5】

テニス【10】

相撲【5】

※ ①……マネージャー

参加状況及び競技方法等

学校名 競技名	性 別	城 東	城 南	城 北	吉 田	三 間	津 島	宇 南	松 野	広 見	日 吉	団 体 合 計	競 技 方 法	県 総 体 枠
バレーボール	男	○							○			2	決 勝	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○		8	トーナメント	2
バスケットボール	男	○		○		○	○	○				5	トーナメント	1
	女	○	○	○	○	○		○		○		7	トーナメント	1
卓 球	男	○	○	○	○	○	○	○		○		8	トーナメント	2
	女	○	○	○	○	○	○	○		○		8	トーナメント	2
ソフトテニス	男	○	○	○			○	○		○	○	7	トーナメント	2
	女	○	○	○	○		○	○	○	○	○	9	トーナメント	2
軟 式 野 球	共	○	合	○	○	○	○	○	合	○		8	トーナメント	2
ソフトボール	女			○								1	認 定	1
サ ッ カ ー	共	○	合	○				○		合		4	トーナメント	1
柔 道	男	○		○	○	○	○			個		5	トーナメント	3
	女	個		○	○	個	個					2	決 勝	制限なし
剣 道	男	○	個	○		○		○		○		5	トーナメント	2
	女	個	○			個		○				2	決 勝	1
体 操 競 技	男											0		
	女			○			個					1	発 表	制限なし
テ ニ ス	男	個				○		個				1	認 定	制限なし
	女	個				○						1	認 定	制限なし
相 撲	男		○									1	認 定	4
陸 上 競 技	男	○	○	○	○	○	○	○		○		8		
	女	○	○	○	○	○	○	○		○		8		
水 泳 競 技	男	○		○	○		○	○		○		6		
	女	○		○	○			○		○		5		
団 体 合 計		16	12	18	12	11	11	15	4	13	2	112		

※ 合は、合同チーム 個は、個人のみ出場

※ 各校名の表記 城東・城南・城北・吉田・三間・津島・宇南・松野・広見・日吉

大会本部役員

名誉大会長	宇和島市教育委員会教育長	金 瀬 聡
	松野町教育委員会教育長	三 好 秀 二
	鬼北町教育委員会教育長	松 浦 秀 樹
大会 長	北宇和郡学校体育会長	行 定 永
大会副会長	宇和島市中学校体育連盟会長	石 止 伊佐美
顧問	南予教育事務所長	中 尾 茂 樹
参 与	宇和島市中学校体育連盟副会長	片 山 公 善
	宇和島市立城東中学校長	西 田 一 洋
	宇和島市立城南中学校長	宮 本 洋 二
	宇和島市立吉田中学校長	牛 川 頼 明
	宇和島市立津島中学校長	中 村 俊 二
	愛媛県立宇和島南中等教育学校長	中 岡 生 文
	松野町立松野中学校長	毛 利 正 寛
	鬼北町立日吉中学校長	岡 田 雅 彦
大会委員長	宇和島市中学校体育連盟理事長	八十島 洋 平
大会副委員長	北宇和郡学校体育会理事長	加賀山 和 宏
大会委員	宇和島市中学校体育連盟理事	城 岡 真 実
	宇和島市中学校体育連盟理事	佐 伯 翔 平
	宇和島市中学校体育連盟理事	梶 谷 啓 介
	宇和島市中学校体育連盟理事	武 田 尚 之
	宇和島市中学校体育連盟理事	武 下 侑 未
	宇和島市中学校体育連盟理事	重 見 一 平
	北宇和郡学校体育会理事	林 惇 範
	北宇和郡学校体育会理事	梶 谷 宗 範

救護員及び救急指定病院

競 技 名	会 場	救 護 員	救急指定病院
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	永井佳奈恵（松野）	市立宇和島病院
バスケットボール	宇和島市総合体育館	宮部 美香（宇南）	（25-1111）
卓 球	鬼北総合公園	松本 忍（広見）	鎌野整形外科
ソフトテニス	津島プレーランド	松田 真依（日吉）	（24-6611）
軟 式 野 球	丸山公園野球場	加洲由花留（津島）	宇和島徳洲会病院
	宮下ふれあい広場	安居 結花（吉田）	（22-2811）
サ ッ カ ー	丸山公園多目的広場	小川 妙（城東）	溜尾整形外科病院
柔 道	宇和島市総合体育館	岡田 久美（城北）	（52-3133）
剣 道	三間町国民体育館	佐々木雛美（三間）	松崎クリニック
体 操 競 技	宇和島市総合体育館	岡田 久美（城北）	（58-4828）
	鬼北総合公園	松本 忍（広見）	市立津島病院
テ ニ ス	鬼北総合公園	松本 忍（広見）	（32-2011）
相 撲	県立宇和島東高等学校 津島分校	伊井さつき（城南）	町立北宇和病院
			（45-1221）

※ 救護員は、大会2日目も同じ会場を担当する。

バレーボール

- 競技責任者 菊岡聡次郎（吉 田）
- 会場責任者 菊岡聡次郎（吉 田）
- 審 判 長 木口 富惣（広 見）
- 審 判 員 山口 貴史（宇 南） 堀切 元生（吉田高） 清家 祥（宇和島東高）
友 勝彦（松野西小） 山宮 斎（城 東） 清水 太一（宇 和）
得能 光司（愛 宕） 大野 伸二（野村高） 大村 祥夫（市バレー協会）
- 運 営 員 城岡 真実（城 東） 宮崎つる乃（城 南） 佐竹 紗依（城 北）
山本 孝信（津 島） 加藤 達也（松 野） 林 惇（松 野）
松浦 英二（宇 南）

- 競技方法

男子は決勝のみ、女子はトーナメントを行う。

- 競技規定

- 1 2021 年度（公財）日本バレーボール協会制定 6 人制競技規則及び競技要項に準ずる。

※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。

（取り扱いの詳細は、県中体連ホームページに掲載する。）

- 2 ベンチに入れる者は、選手 12 名以内と監督・コーチ・マネージャー各 1 名とする。監督・コーチは、当該校の校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。コーチは、当該校の校長が認めた者とする。マネージャーは生徒に限る。

なお、コーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）証を付けること。

- 3 監督・コーチ・マネージャーは、必ず規定のマークを左胸部につけること。
- 4 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。（短パン、ランニングは不可）
- 5 試合設定時刻は、プロトコール開始時刻とする。
- 6 ネットの高さは、男子 2 m30 c m、女子 2 m30 c mとする。
- 7 ボールは 4 号球で、人工皮革・カラーボールを使用する。（男：モルテン、女：ミカサ）
- 8 公式練習は、毎試合ごとに行う。
- 9 登録選手及びチームスタッフの変更については、当該チームの第 1 試合プロトコール開始までに各会場の本部に連絡すること。
- 10 給水のためのタイムアウトを採用する。（取り扱いの詳細は、県中体連HPに掲載する。）

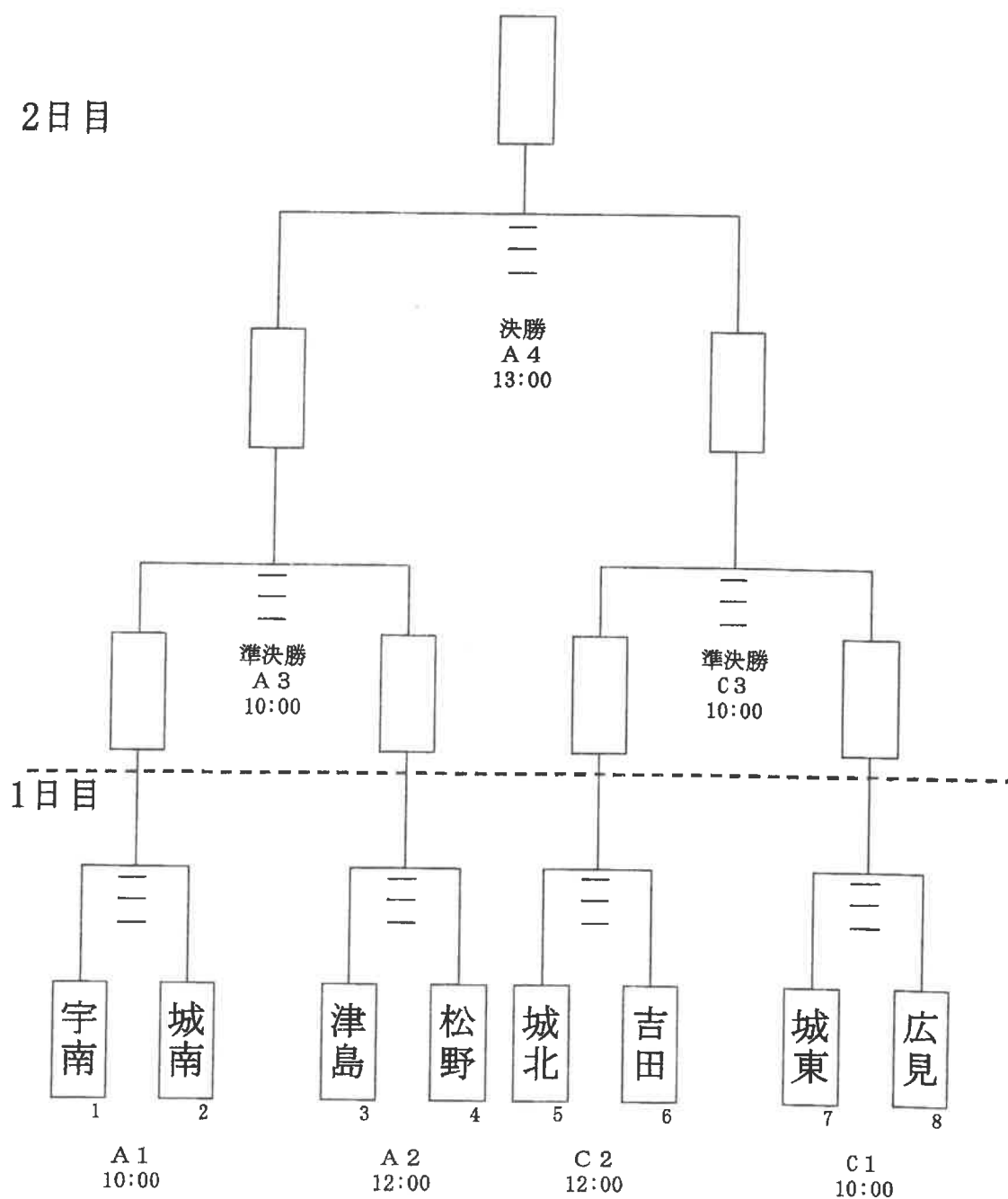
組 合 せ

バレーボール男子 決勝（Bコート）（競技開始 2 日目 11:30）

城東 三 松野

バレーボール女子（A・Cコート）

2 日 目



設定時刻をプロトコールの開始時刻とします。
会場への入場は、原則、前の試合のチームが退場後とする。

バスケットボール

- 競技責任者 堀上 元貴（城 南）
- 会場責任者 新田 智大（城 東）
- 審判長 西田 裕充（津 島）
- 審判員 清家 規晶（南バ協） 佐竹 克哉（南バ協） 梅田 望（南バ協）
宇田 浩二（南バ協） 西田 卓史（南バ協） 熊 美里（南バ協）
二神信次郎（城 北） 神野 一郎（宇 南） 毛利 和麻（城 東）
- 運営員 泉野 武憲（南バ協） 篠崎 和文（宇 南） 山下 真人（城 北）
伊勢 千加（広 見） 宮本 映（三 間） 和田 敬之（宇 南）
土居 愛捺（吉 田） 伊藤 萌（津 島）

- 競技方法 男子・女子ともに、トーナメントを行い、2日目に決勝を行う。

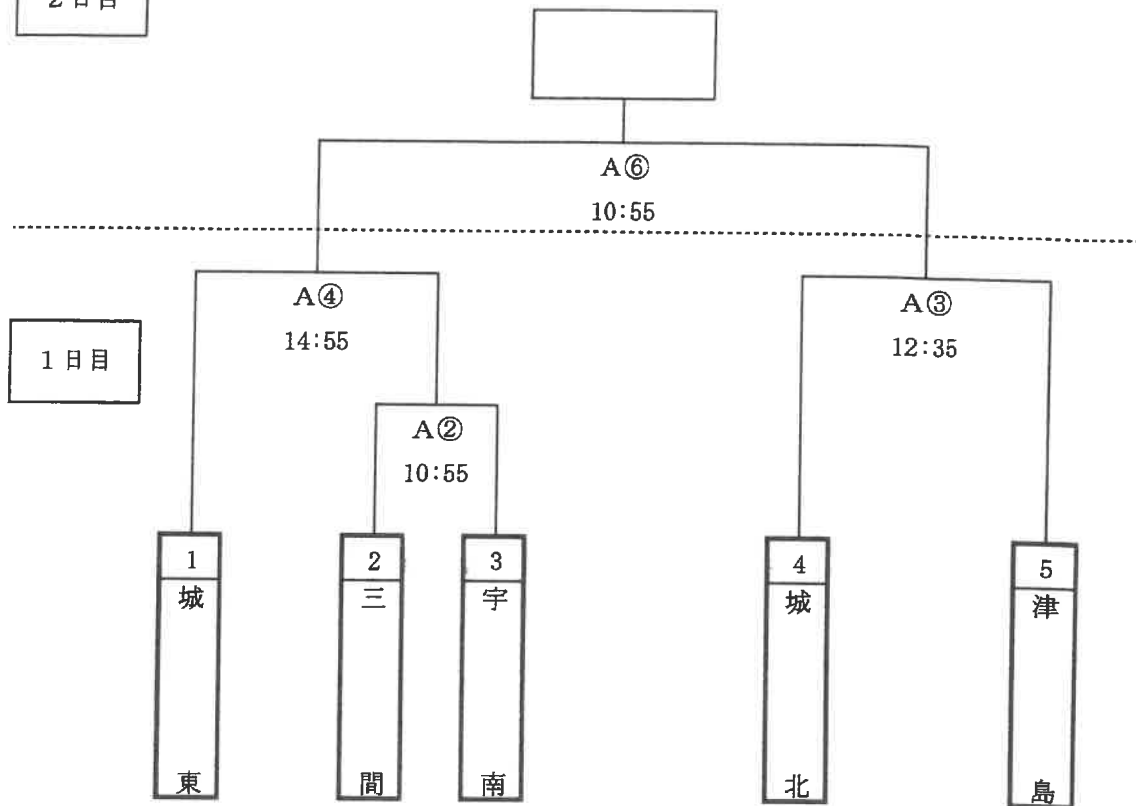
○ 競技規定

- 1 2021～（公財）日本バスケットボール協会競技規則による。
- 2 試合球は（公財）日本バスケットボール協会検定球、男子は7号・女子は6号皮革製とする。
- 3 ベンチは、組合せ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。
- 4 ユニフォームの色は、組合せ番号の小さい方が白色とする。
- 5 ベンチに入る者は登録された選手15名と引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名とする。引率責任者・監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とし、コーチは校長の認めた者とする。また、マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。ただし、教員以外の指導者の場合は、試合中証明書を確認できるようにしておく。
- 6 監督、コーチは、試合中チームベンチエリア内で両者同時に立ち続けることは認められない。
- 7 ゾーンディフェンスは認めない。
- 8 チームトレーナーが帯同する場合は、申込時に所定の「チームトレーナー申請書(校長承諾書)」を提出すること。

組合せ

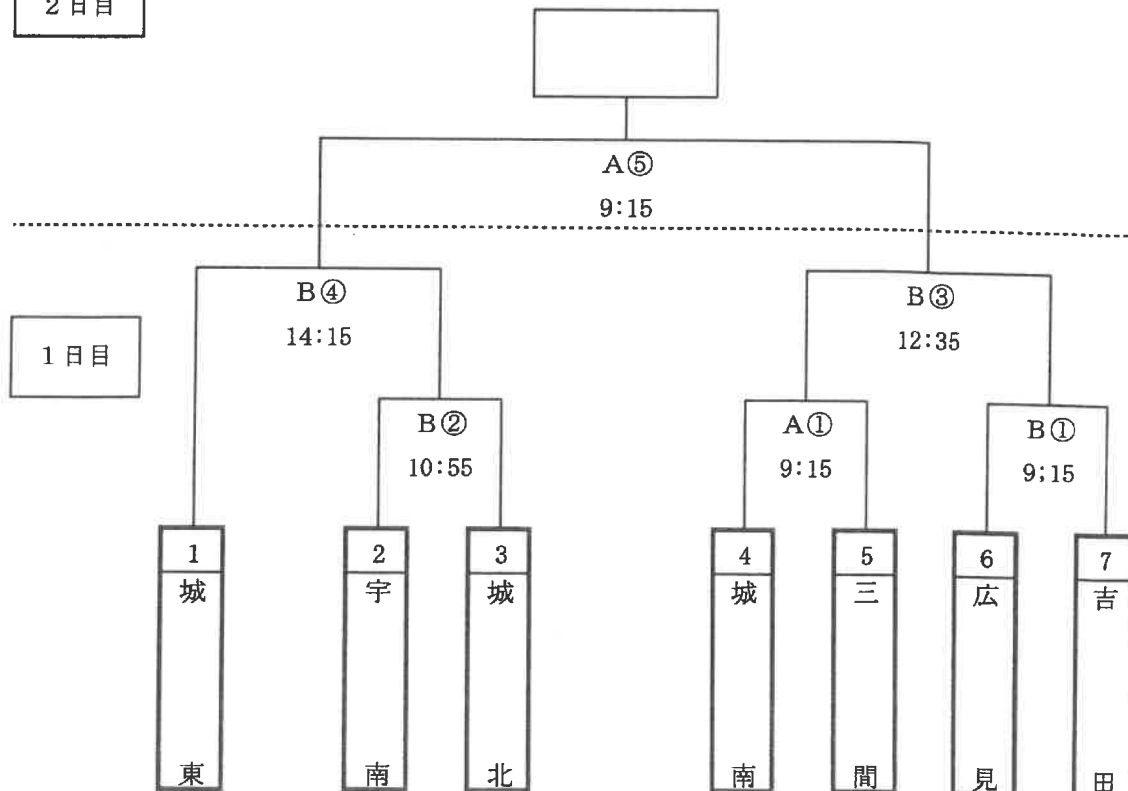
バスケットボール (男子)

2日目



バスケットボール (女子)

2日目



卓 球

- 競技責任者 飯田 修司 (宇 南)
- 会場責任者 脇坂 祐輔 (広 見)
- 審 判 長 揚野 豪恭 (城 南)
- 運 営 員 利根 建樹 (広 見) 前田 哲伸 (城 東) 芝 祐介 (宇 南)
是澤 矩史 (広 見)

○ 参 加 規 定

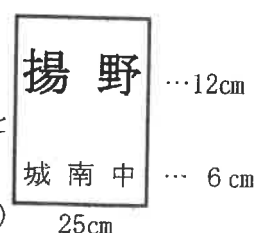
- 1 団体戦 同一校の選手6～8名以内、監督1名をもって編成登録する。なお、監督の他にコーチとして、出場校の教職員（部活動指導員含む）もしくは校長の承認を得た外部指導者（コーチ）どちらか1名のベンチ入りを認める。
- 2 個人戦 シングルスとダブルスは、兼ねることができない。なお、アドバイザーとして、1名のベンチ入りを認める。ただし、監督または、当該校の教職員（部活動指導員含む）、校長の承認を得た外部指導者、生徒のいずれかとする。

○ 競 技 方 法

- 1 各種目ともトーナメント方式で実施する。
- 2 1日目に団体戦を行い、2日目に個人戦を行う。

○ 競 技 規 定

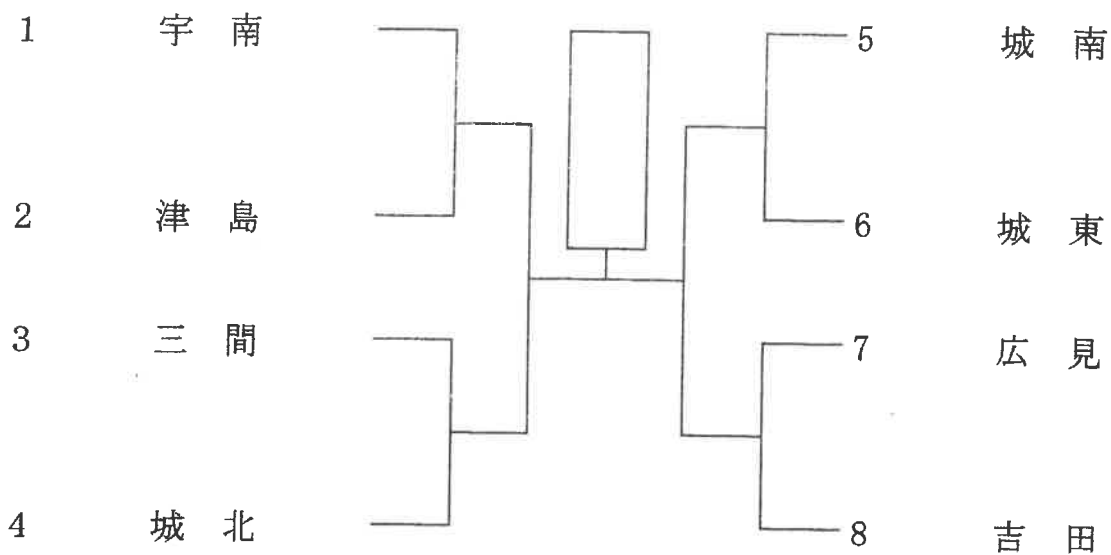
- 1 現行の（公財）日本卓球協会ルールを適用する。（全ての試合で、タイムアウト・促進ルールを適用する。）
- 2 ユニフォームの背部に右のゼッケンをつける。（同姓の場合は名を一字だけ加える。）
- 3 オーダー用紙は、右側に自校のオーダーを記入し、対戦校同士で交換をする。
- 4 大会使用球は、（公財）日本卓球協会公認ホワイト球（プラスチック）とする。（VICTAS (VP40+)、Nittaku、Butterfly (A40+)）(40mm)
※ 本部ではNittakuを準備しているが、VICTAS (VP40+)、Butterfly (A40+)の持ち込み可。ただし、1試合ごとに新球を使用すること。



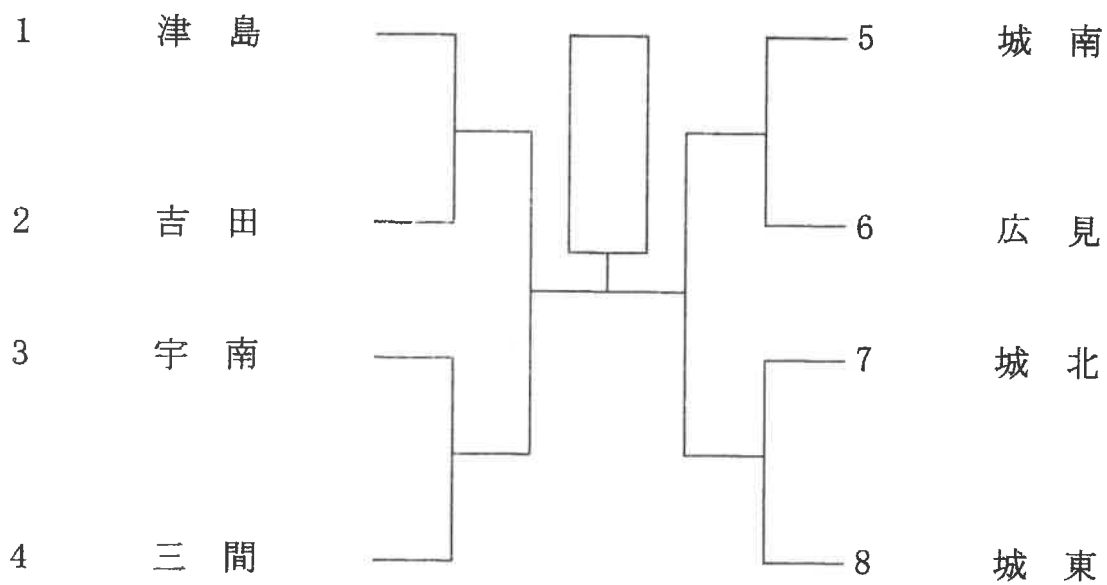
○ 競技上の注意事項

- 1 サービスは16cm以上投げ上げること。
- 2 試合中のタオル使用は、6本ごとのサービス交代時のみとする。
（最終ゲームは、どちらかが5ポイント先取した時のみとする。）
- 3 ゼッケンは、日本卓球協会のものも認める。
- 4 ツブ高ラバー及びラバーの接着等を含め、審判長の判断でラケット交換を要求することができる。
- 5 ペンホルダーのラケットは、表裏を赤黒の異色にする。

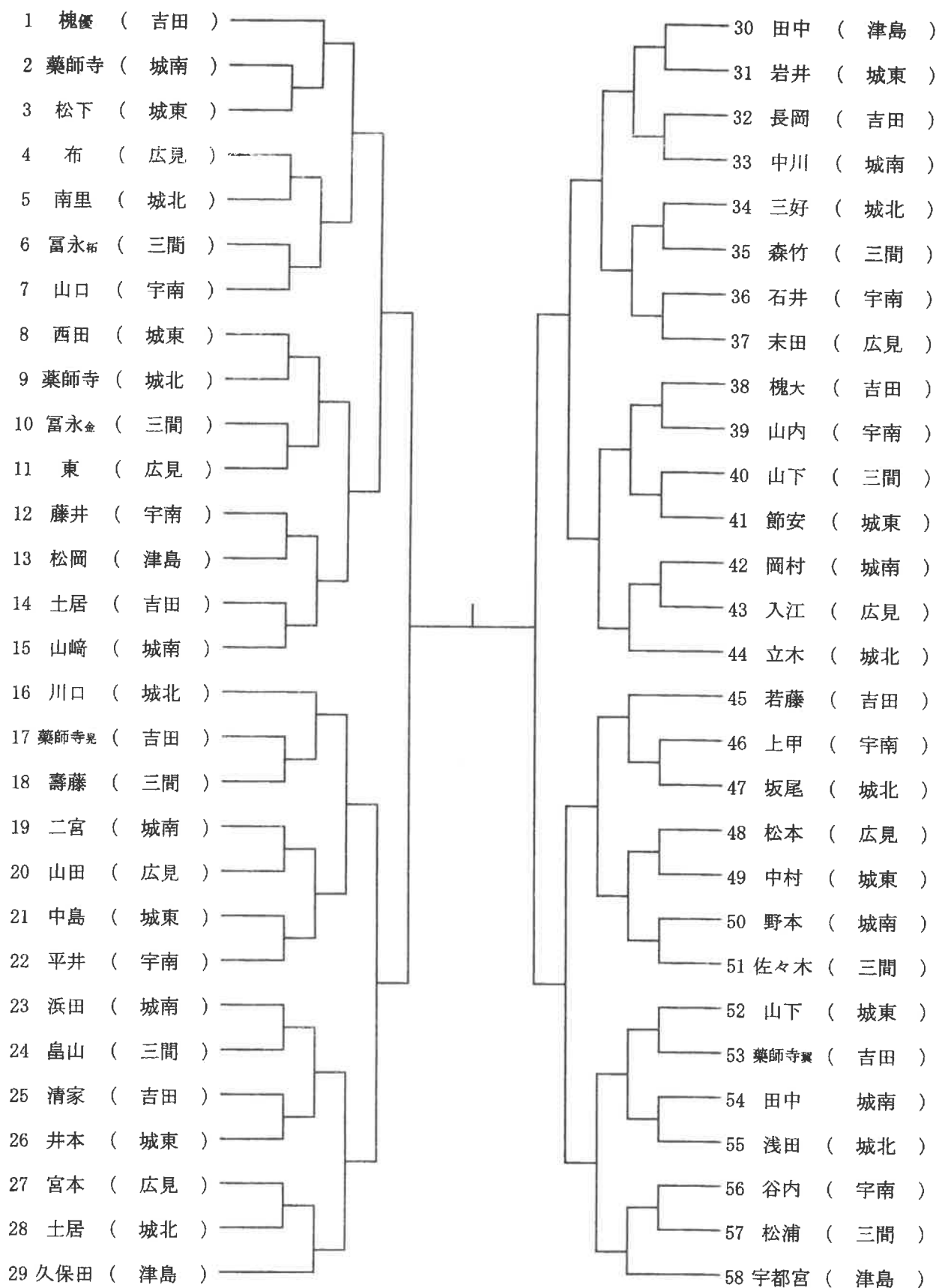
卓球 団体 (男子)



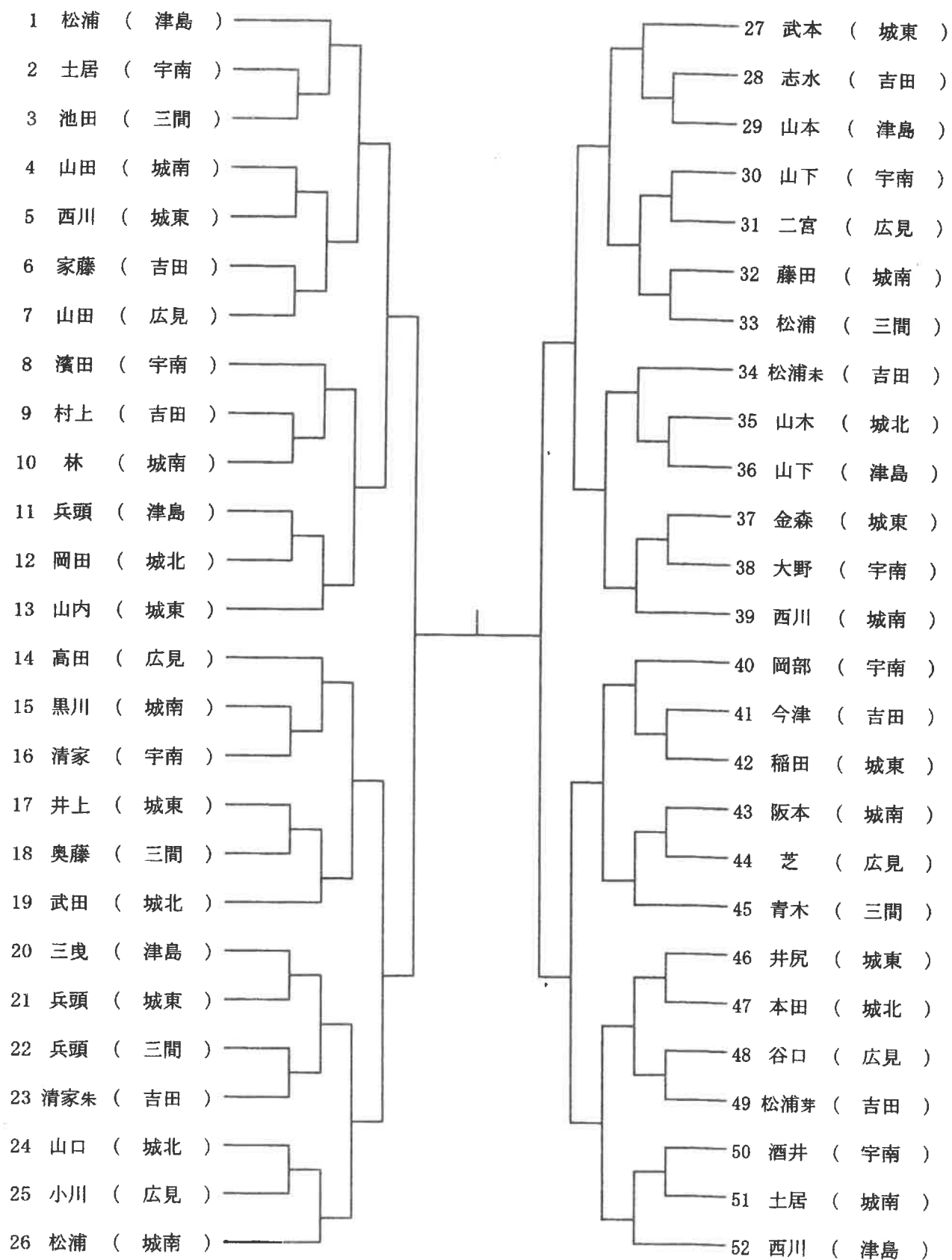
卓球 団体 (女子)



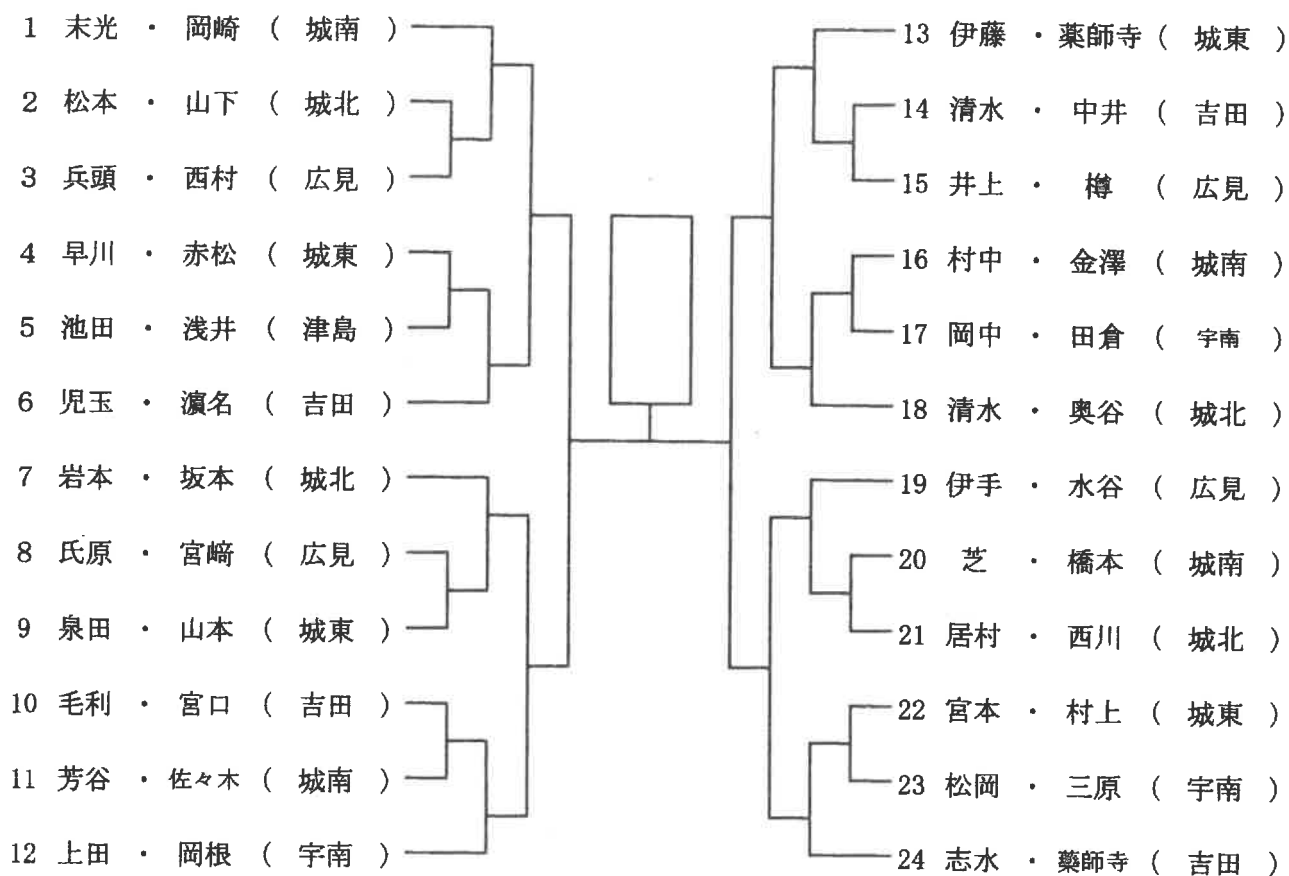
卓球 個人戦 シングルス (男子)



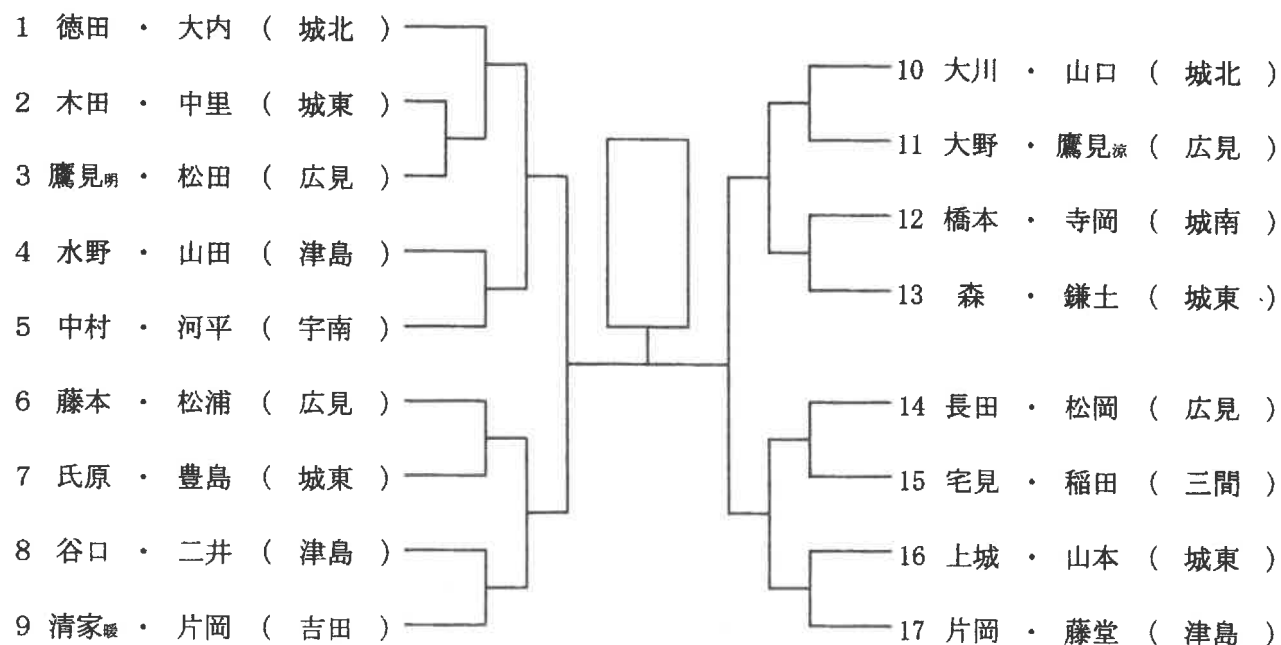
卓球 個人戦 シングルス (女子)



卓球 個人ダブルス (男子)



卓球 個人ダブルス (女子)



ソフトテニス

- 競技責任者 岡田 幸俊 (城北)
- 会場責任者 和田 美弥 (津島)
- 審判長 徳田 英樹 (日吉)
- 審判員 大嶋 真広 (城東) 坂本 忠司 (城北) 松田 裕樹 (城南)
清水 充智 (城南) 清家 純子 (宇南) 松浦 一 (宇南)
福岡 拓矢 (津島) 水野 文隆 (松野) 柿本 弘樹 (広見)
小島 啓明 (広見) 水野 公貴 (日吉) 竹内 敏夫 (ソフトテニス部)
森下 佳代 (ソフトテニス部) 野中 壘 (ソフトテニス部) 武田 恭介 (ソフトテニス部)
森 友紀 (ソフトテニス部)
- 運営員 柿本 弘樹 (広見)

○ 参加規定

- 1 団体戦は、同一校の選手4名以上8名以内と監督又はコーチ1名で構成する。
- 2 個人戦は、同一校の選手2名と監督又はコーチ1名で構成する。

○ 競技方法

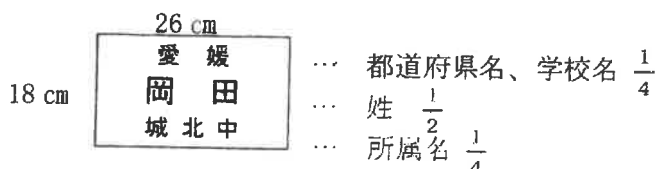
- 1 団体戦、個人戦ともにトーナメント方式とし、試合は7ゲームマッチとする。
- 2 団体戦において、4名(2ペア)で出場する場合は、第1、2対戦に出場し第3対戦を不戦敗とする。
- 3 団体戦を1日目に、個人戦を2日目に実施する。

○ 競技規定

- 1 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。
- 2 使用球はアカエム公認球(白色)とする。
- 3 ユニフォームは、上は半袖のスポーツシャツ(襟なし可)、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装(用具を含めて)の色等は華美にならないようにする。上記の服装から外へ出るハイネック等のアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。シャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームは文言や記号を後から記入もしくは印刷し使用してはいけない(半袖・短パン・体操服可)。
- 4 監督・選手ともテニスシューズを着用する。
- 5 ソックスの長さについては、くるぶしより上で、ハイソックスは認めない。
- 6 ハチマキ、帽子、サンバイザーには、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。
- 7 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央に付けること。ただし、4隅を止めることとする。すでにプリントされている文字は隠すようにつけるものとする。
 - (1) ゼッケンは、B5判横(白地)の大きさの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字は付けないものとする。中学校は「中」と表記する。

- (2) ゼッケンの文字は、「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字の色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- (3) 都道府県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。
- (4) ゼッケンの文字の位置は下図どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。
- (5) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

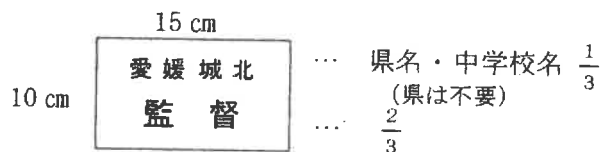
[選手のゼッケン]



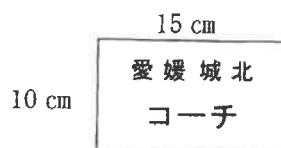
○ 競技上の注意事項

- 1 オーダーは試合ごとに2部作成し、1部を試合後に本部に提出する。
- 2 個人戦の場合も監督・コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）はベンチに入ってもよい。個人戦は、出場ペア数まで監督・コーチをおくことができる。コーチ（教員・外部指導者）は、申込書に必ず明記しておくこと。
- 3 監督・コーチは、スポーツウェア、テニスシューズを着用のこと。また、監督・コーチは左胸にゼッケンをつけること。（文字、生地の色は特に指定しない。）外部指導者は中体連が定める外部指導者証も所持すること。
- 4 ベンチ外からのコーチは禁止する。（イエローカードの提示の対象とする。）
- 5 外部指導者（コーチ）がベンチに入る場合は、監督は必ずコート周辺に待機すること。

[監督のゼッケン]

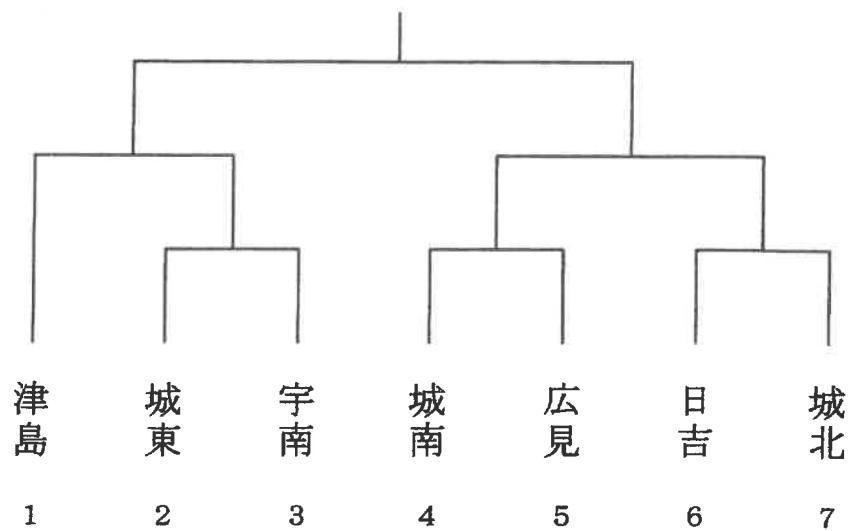


[コーチのゼッケン]

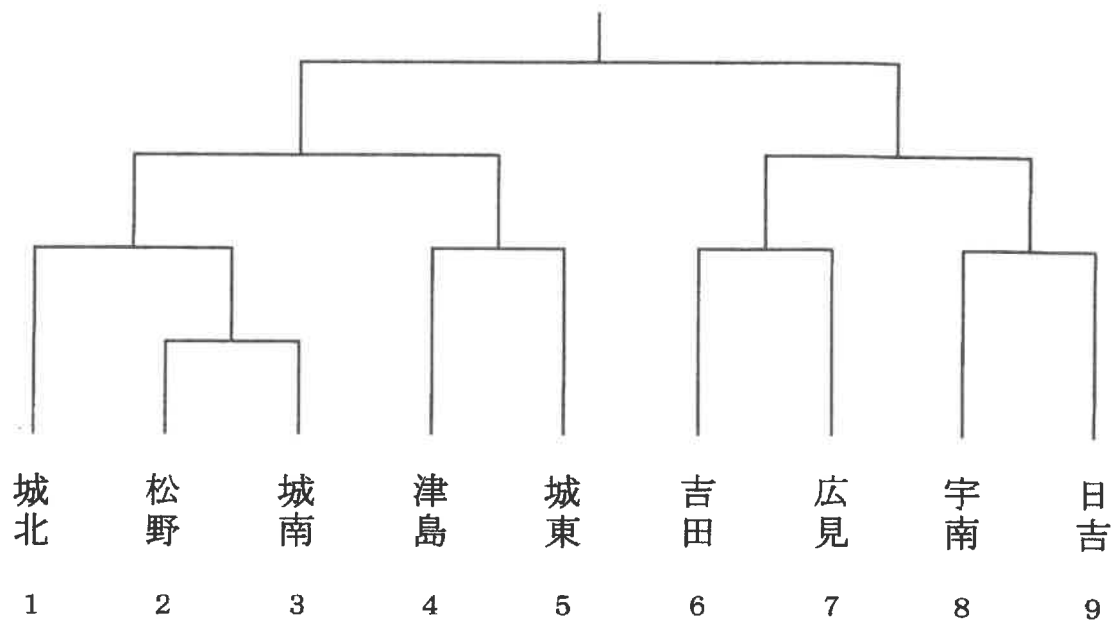


組合せ

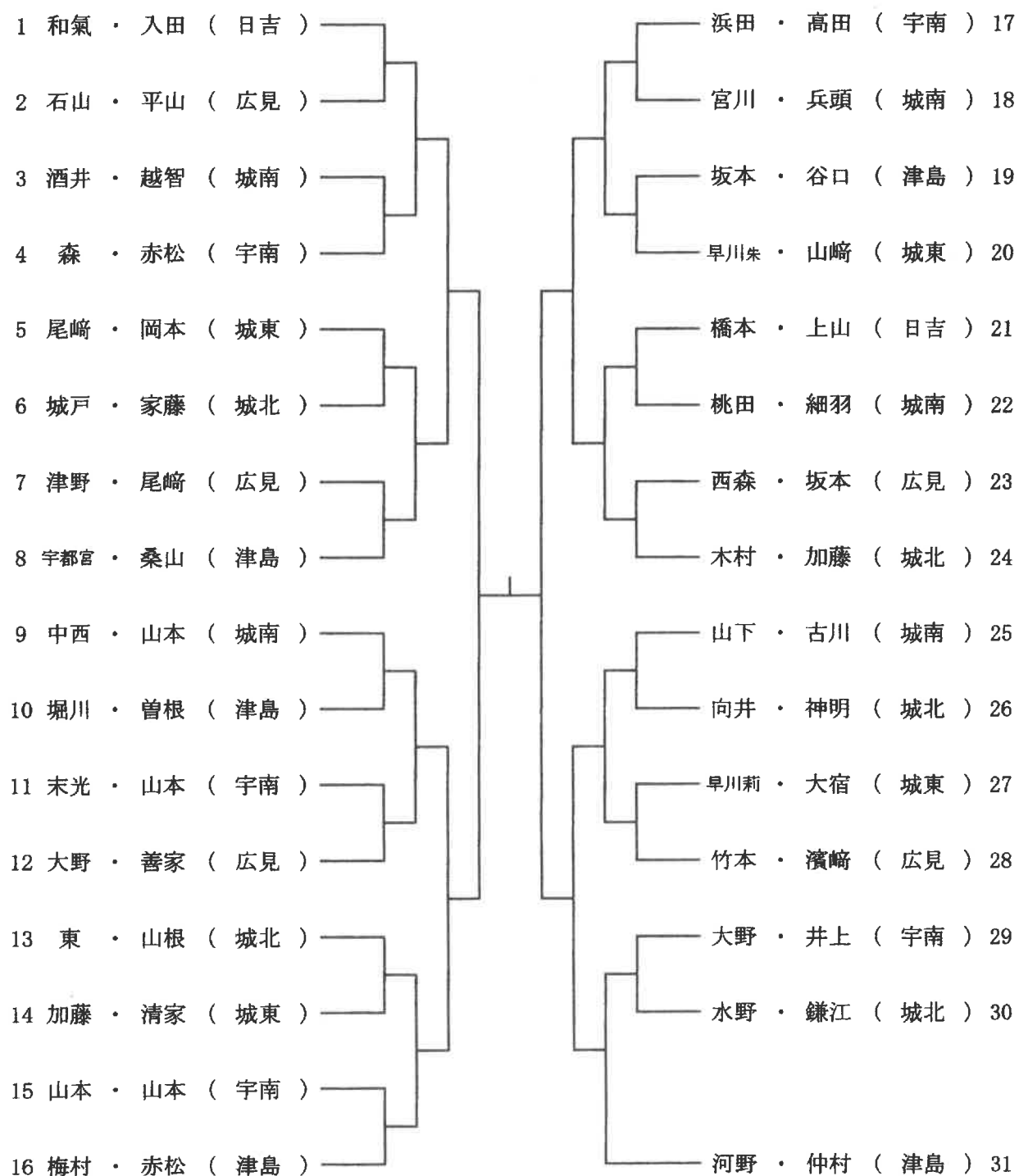
ソフトテニス 団体（男子）



ソフトテニス 団体（女子）



ソフトテニス 個人（男子）



ソフトテニス 個人 (女子)

1 水野 ・ 柚村 (城東)		坂本 ・ 松宮 (日吉) 22
2 加藤 ・ 山口 (松野)		小池 ・ 船田 (宇南) 23
3 大田黒 ・ 宮本 (日吉)		丸山 ・ 赤松樹 (吉田) 24
4 山本 ・ 稲垣 (宇南)		林 ・ 三瀬 (城南) 25
5 松本 ・ 三好 (城北)		山口綾 ・ 水谷 (津島) 26
6 菊野 ・ 和田 (城南)		山本 ・ 坂本 (城東) 27
7 上山 ・ 岡山 (松野)		土居 ・ 清水 (広見) 28
8 高瀬 ・ 岡崎 (広見)		安延 ・ 江尻 (宇南) 29
9 魚崎 ・ 坂本 (津島)		
10 馬木 ・ 兵頭 (日吉)		山口 ・ 中尾 (松野) 30
11 藤本 ・ 内藤 (吉田)		濱田 ・ 伊井 (城北) 31
12 今城 ・ 山下 (日吉)		武田 ・ 山口 (津島) 32
13 井谷 ・ 久保 (城南)		兵頭 ・ 藤井 (城北) 33
14 上甲麻 ・ 杉山 (広見)		清家 ・ 笠岡 (宇南) 34
15 谷口 ・ 松尾 (城北)		森口 ・ 佐々木 (吉田) 35
16 酒井 ・ 石野田 (松野)		進藤 ・ 末浪 (城南) 36
17 赤松叶 ・ 岩城 (吉田)		山本 ・ 藤藪 (松野) 37
18 藤本 ・ 船田 (城東)		尾崎 ・ 川平 (日吉) 38
19 赤松 ・ 田村 (津島)		上甲雛 ・ 岡崎 (広見) 39
20 水野 ・ 兵頭 (城南)		加賀山 ・ 出水 (吉田) 40
21 牧野 ・ 濱瀬 (宇南)		大塚 ・ 河野 (城北) 41
		高山 ・ 大石 (城東) 42

軟 式 野 球

- 競技責任者 吉川 晋 (津 島)
- 会場責任者 (丸山公園野球場) 山口 功一 (城 北)
(宮下ふれあい広場) 松本 敬幸 (城 東)
- 審判長 山口 功一 (城 北)
- 審判員 渡辺 卓一 (宇軟野連) 酒井 文男 (宇軟野連) 本山 順一 (宇軟野連)
浅川 幸治 (宇軟野連) 松崎 陽介 (宇軟野連) 清家 康太 (宇軟野連)
二神 崇雄 (宇軟野連) 山村 司 (宇軟野連) 渡邊 卓 (城 北)
- 運営員 松本 敬幸 (城 東) 薬師寺 晃 (城 東) 清家 稔 (城 南)
武田 尚之 (三 間) 垣内 智善 (吉 田) 岡田 真輔 (広 見)
堀田 貴之 (広 見) 竹葉 弘一 (松 野) 坂上 祐亮 (宇 南)
梅林 怜史 (宇 南)

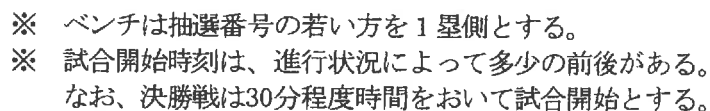
○ 競技方法

- 1 全試合トーナメントとし、各試合は7回戦とする。
- 2 5回以降7点差でコールドゲームを適用する。
- 3 延長戦は8回から特別延長戦を行う。

○ 競技規定

- 1 当該年度公認規則及び大会特別規程による。投手の投球制限は、1日100球とする。但し、試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- 2 1チームの編成は、監督(引率責任者)1名、選手20名以内(スコアラーを含む)とする。また、この他に教員を2名追加することができる。監督は出場校の教員・部活動指導員とする。外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、出場校の校長が認めコーチ証を所持した者とする。
- 3 ユニフォーム、アンダーシャツは同一のものを使用し(一番上から11cmの位置に)、背番号を付ける(背番号は、選手は1から20番、監督は30番、コーチは29、28番とする)。監督・外部指導者(コーチ)は、原則として選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。サングラスは使用しない。引率教員は平服でもよいが、平服の場合はグラウンドには入れない。
- 4 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を4部持って、打ち合わせをする。
- 5 シートノックは、後攻側より始め、通告時より7分以内とする(運営上、短縮・省略することもある)。また、試合前の練習及びノックは登録選手以外に3名の補助員をつけることができる。マウンドでの投球練習は認めない。ノッカーは、選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。相手チームのシートノック中は、ベンチから出ない。終了2分前からベンチ前での準備は認める。
- 6 試合成立は5回とし、暗黒・降雨によるコールドゲームは適用する。暗黒・降雨などで試合が5回以前に中止となった場合、5回以降同点で中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。但し、決勝戦は再試合とする。
- 7 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、所定の位置につく。投手、またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置く。
- 8 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。
- 9 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは、試合前のノック時以外は、ベンチから出ない。
- 10 メガホンの使用は、監督のみとする。
- 11 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問できる。
- 12 危険防止のため、次のことを徹底する。
 - ① バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。
 - ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実には妨害になった場合は走者をアウトとする。

- ## 組合せ



サ ッ カ ー

- 競技責任者 脇本健太郎 (城 東)
- 会場責任者 木下翔太郎 (城 北)
- 審判長 加賀山和宏 (広 見)
- 審判員 赤松 弘教 (市サッカー協) 青木 広樹 (市サッカー協) 伊原 達也 (市サッカー協)
内山 勝允 (市サッカー協) 大塚 隆三 (市サッカー協) 中村 太郎 (市サッカー協)
二神 洋幸 (市サッカー協) 松浦 一晴 (市サッカー協)

○ 競技方法

- 1 トーナメント方式とする。
- 2 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。準決勝・決勝において勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施し、なお決しないときには再度、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施する。それでもなお決しないときにはPK方式により勝敗を決定する。
- 3 飲水タイムもしくはクーリング・ブレイクを設けることがある。

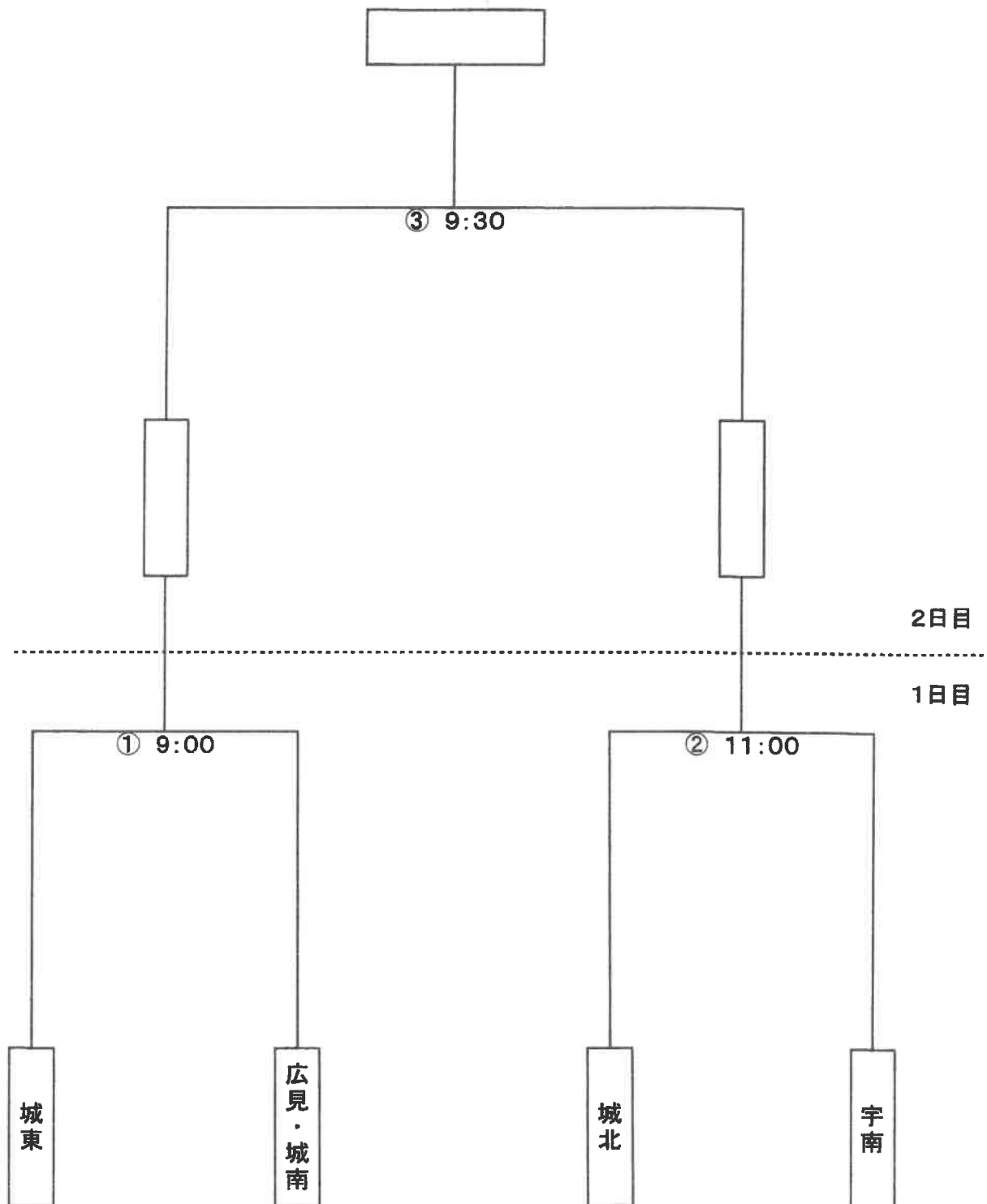
○ 競技規定

- 1 2021年度(公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。
- 2 選手登録は18名以内とし、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、1度退いた競技者も再び出場することができる。ただし、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
- 3 試合球は公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
- 4 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、違反行為の内容によっては競技責任者、審判長、審判員でそれ以降の措置について決定する。
- 5 本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
- 6 各チームは監督1名、選手18名に加え、引率者1名、コーチ1名(すべて監督が兼ねることができる)、校長のうち2名までがベンチ入りすることができる。

○ 競技上の注意事項

- 1 ユニフォームは必ず1着以上を持参すること。(2着以上が好ましい。)背番号は1番から99番までとする。
- 2 審判員と同一または類似色みのユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
- 3 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中止し、その後の処置については大会本部もしくは大会役員で決定する。
- 4 出場チームは、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底すること。(参加者の健康状態のチェック、試合以外でのマスク着用、手指消毒等)

組合せ



柔 道

- 競技責任者 梶谷 啓介 (城 北)
- 会場責任者 梶谷 啓介 (城 北)
- 審 判 長 梶谷 宗範 (日 吉)
- 審 判 員 毛利 武志 (津 島) 山下 孝文 (宇和島東高) 河辺 泰司 (鬼城柔)
- 武本 豊 (鬼城柔) 松本 弘文 (宇和島柔) 梶原 純 (吉田柔)
- 伊藤 優子 (吉田柔) 毛利 泰三 (三間柔) 田村 康雄 (津島柔)
- 福島 亮 (津島柔)
- 運 営 員 渡辺 庸介 (吉 田) 梶谷 宗範 (日 吉) 古谷 成 (津 島)
- 毛利 武志 (津 島) 村上 恵 (広 見) 松本 裕子 (松 野)
- 溝脇 未来 (吉田柔) 石川 将文 (鬼城柔) 長澤 伸幸 (城 東)

○ 競技方法

1 団体戦

- (1) 男女ともトーナメント方式とする。
- (2) 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- (3) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- (6) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」	=	「反則勝ち」	>	「技あり」	>	「僅差」
------	---	--------	---	-------	---	------

- (7) チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、順位は次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち数による。
 - ② ①において同等の場合は、内容により決定する。
 - ③ ②において同等の場合は、1名による代表選により決定する。
- (8) 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

2 個人戦

- (1) 男女ともトーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技あり」、又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- (4) 両者反則負けの場合は、次の試合に進めない。
- (5) 体重区分は次の通りとする。
 - ① 男子

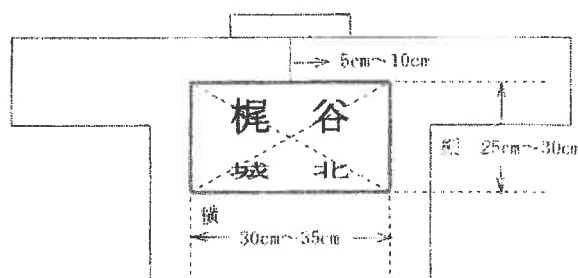
50 kg級 (50 kg以下)	55 kg級 (50 kg超～55 kg以下)
60 kg級 (55 kg超～60 kg以下)	66 kg級 (60 kg超～66 kg以下)
73 kg級 (66 kg超～73 kg以下)	81 kg級 (73 kg超～81 kg以下)
90 kg級 (81 kg超～90 kg以下)	90 kg超級 (90 kg超)
 - ② 女子

40 kg級 (40 kg以下)	44 kg級 (40 kg超～44 kg以下)
48 kg級 (44 kg超～48 kg以下)	52 kg級 (48 kg超～52 kg以下)
57 kg級 (52 kg超～57 kg以下)	63 kg級 (57 kg超～63 kg以下)
70 kg級 (63 kg超～70 kg以下)	70 kg超級 (70 kg超)

○ 競技規定

- 1 国際柔道連盟試合審判規定(2018年4月1日より施行)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- 2 柔道衣は白色とする。
- 3 (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は男女とも黒帯を用いること。
- 4 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること(新規格の赤色のマーキングのもの)。
- 5 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - (1) 布地は白(晒、太綾)とする。
 - (2) サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - (3) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - (4) 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - (5) 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - (6) 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

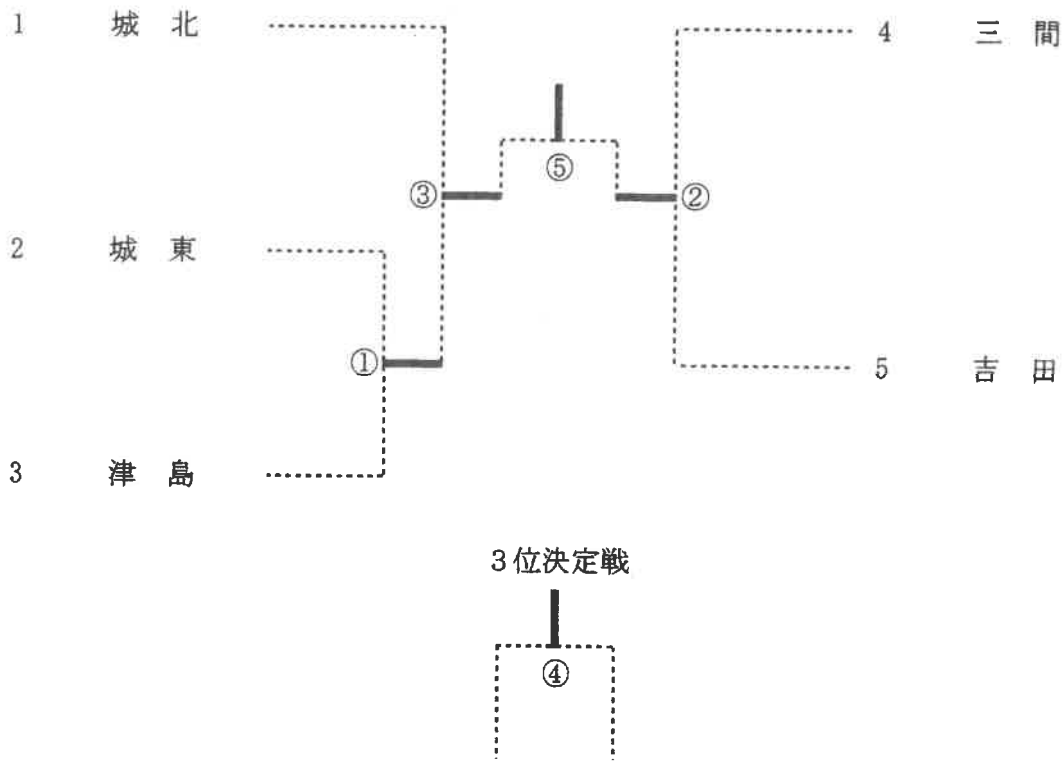
〈 例 〉



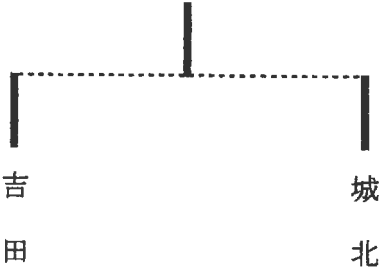
- 6 女子は上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- 7 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- 8 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。
- 9 体重に増減があった場合、失格とする。但し、女子はTシャツ・下ばきで1kgオーバーまで認める。
- 10 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
- 11 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお至急専門医の精査を受けること)。
 - (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 12 いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場することはできない。ただし、団体戦と個人戦は、一連の試合とは見なさない。
- 13 初心者が試合に出場するまでの期間は、練習開始から少なくとも6ヶ月経過後とする。

組合せ

柔道団体（男子）

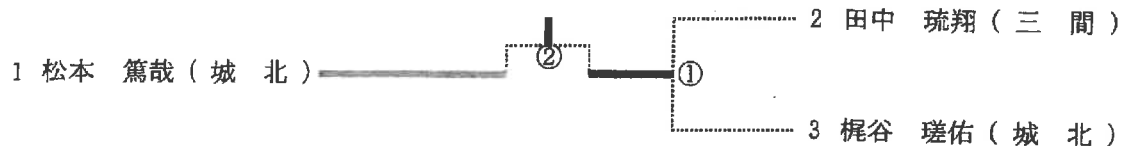


柔道団体（女子）

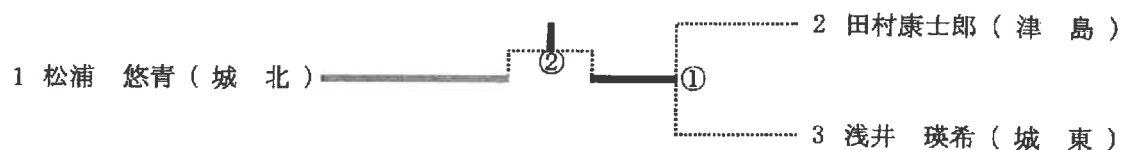


柔道個人（男子）

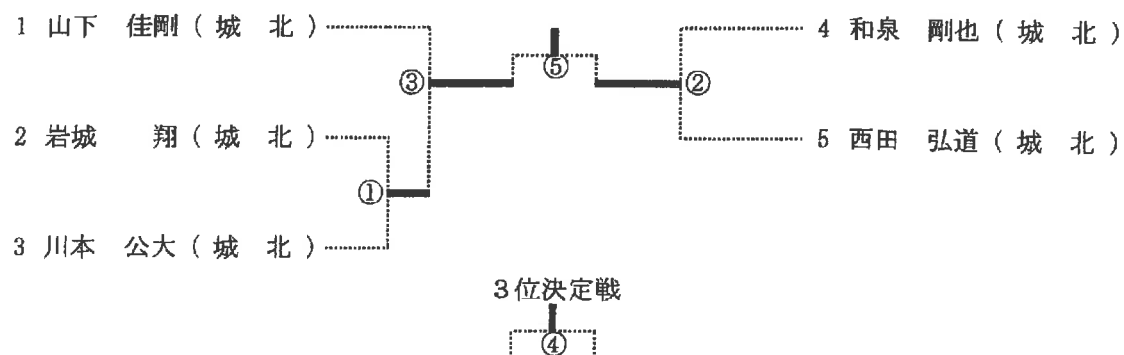
男子50kg級



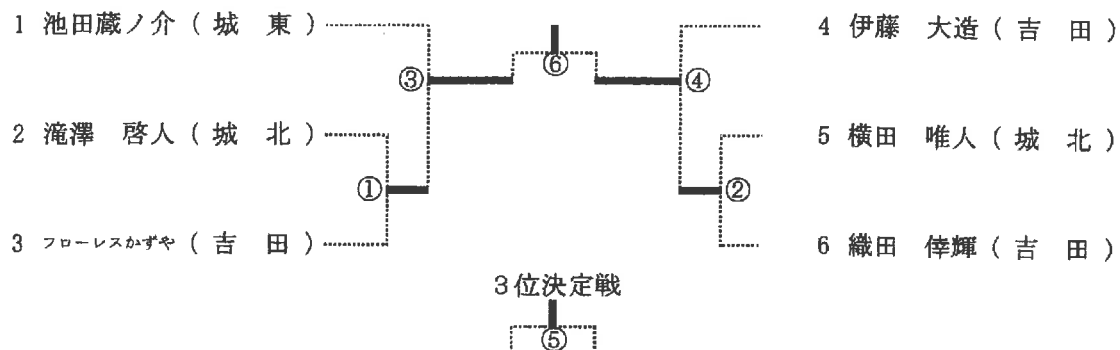
男子55kg級



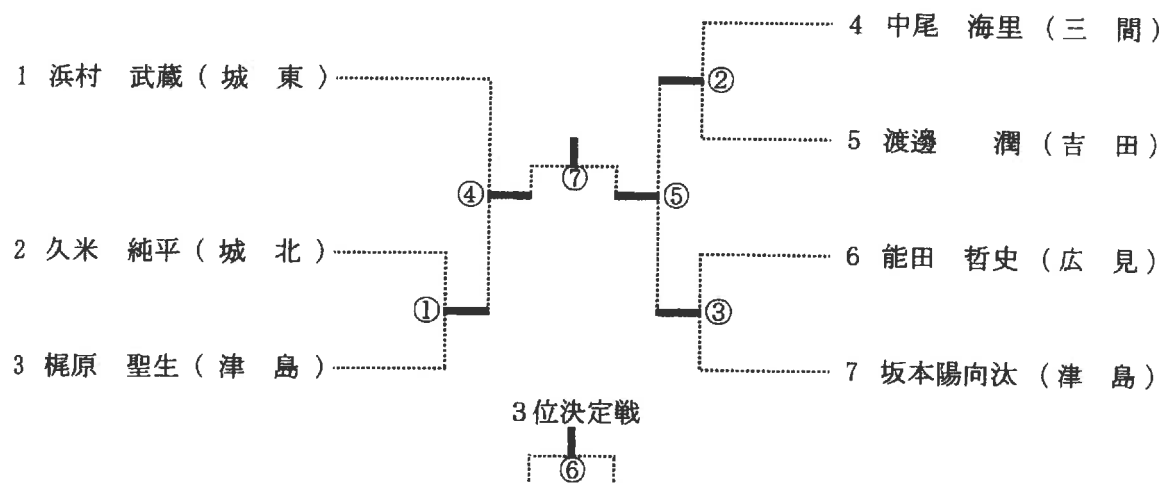
男子60kg級



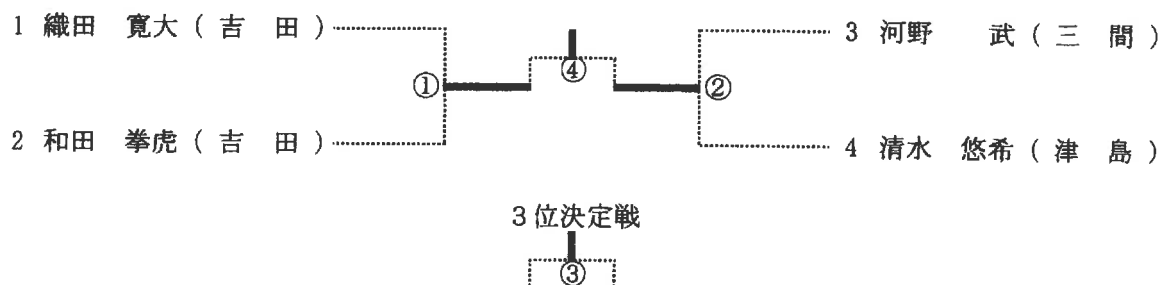
男子66kg級



男子73kg級



男子81kg級



男子90kg級

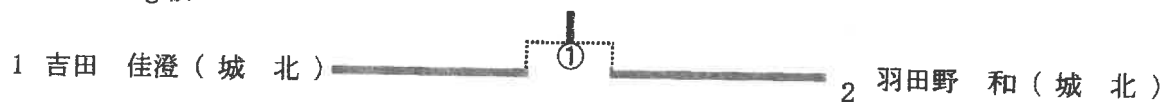


男子90kg超級

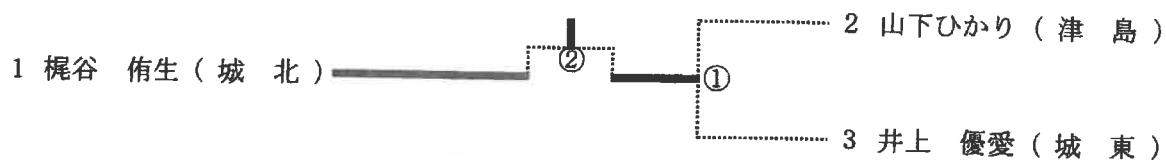


柔道個人（女子）

女子40kg級



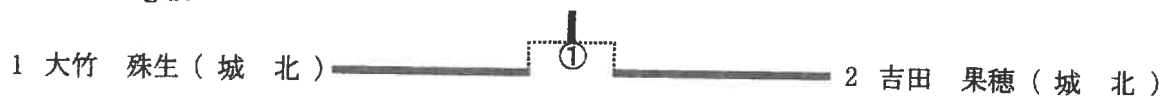
女子44kg級



女子48kg級



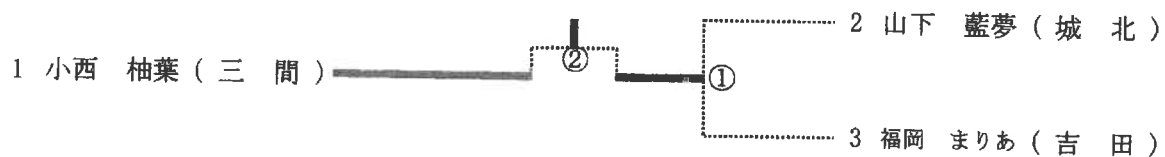
女子52kg級



女子52kg級



女子63kg級



女子70kg級



剣 道

- 競技責任者 増田 智之 (城 東)
- 会場責任者 酒井 孝夫 (三 間)
- 審 判 長 酒井 孝夫 (三 間)
- 審 判 員 古谷 龍夫 (鬼北剣) 菊池 新八 (宇和島剣) 高田 賢三 (鬼北剣)
善家 慎介 (三間剣) 五島 卓也 (宇和島剣) 山崎 美和 (三間剣)
大瀧 康孝 (鬼北剣) 明神 正勉 (三間剣) 山下 憂記 (宇和島剣)
高須賀和幸 (宇和島剣) 池田 公志 (学剣連) 渡邊 浩明 (三間剣)
清水 友和 (宇和島剣) 五島 啓太 (宇和島剣) 桐山 浩之 (学剣連)
- 運 営 員 寺岡 博樹 (城 北) 工藤 洋志 (宇 南) 米田 実樹 (城 南)
新城 采音 (広 見)
- 競技方法
試合はトーナメント方式で行う。
- 競技規定
 - 1 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び細則」、及び暫定的な試合・審判法、日本中体連剣道競技部申し合わせ事項よって行う。
 - 2 団体戦
 - (1) 3名以上で出場可。但し、3名の場合は先鋒・中堅・大将の位置で行う。4名の場合は、先鋒・中堅・副将・大将の位置で行う。
当日、団体戦の正員の中で、怪我等で出場できなかつたり、欠席したりする可能性がある選手がいる場合は次鋒と副将に入れること（出場できない可能性のある選手が1名の場合は次鋒に、2名の場合は次鋒と副将に入れること）。
 - (2) 3分間3本勝負とする。ただし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。延長戦は行わない。
 - (3) 勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は、勝本数の多い方を勝ちとする。さらに、同数の場合は、3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝負が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。
 - (4) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。
 - (5) オーダーは申し込み後変更を認めない。
 - (6) 団体戦では、補員と交代した者は再び選手として出場できない。
 - 3 個人戦
 - (1) 3分間3本勝負とする。勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を勝敗の決するまで行う。
 - (2) 延長戦における休息等は以下の通りとする。
試合時間3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水（3分）】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 【面を外しての休息・給水（3分）】
⇒ 試合の続く限り繰り返す。
 - 4 選手は、鏝競り合いをしない試合を心掛けさせる。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか引き技を出す。「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合い（竹刀が交わらない距離）を完全に切る。解消されない場合は審判員が「分かれ」、あるいは状況により「止め」をかける。

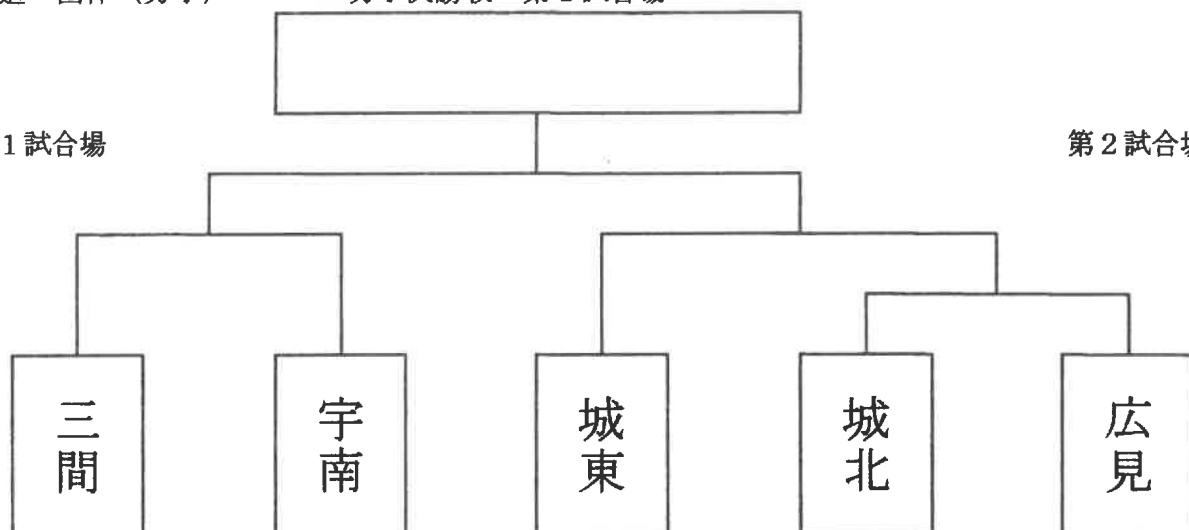
- 5 試合中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。
- 6 竹刀は男女とも 114 cm以下とし、竹刀の先部の直径は、男子 25 mm以上、女子 24 mm以上でなければならない。
また、先革の長さは 50 mm以上とする。ちくとう最小直径男子 20 mm以上、女子 19 mm以上とする。重さは、男子 440 g 以上、女子 400 g 以上とし、計測、計量を行う。化学繊維竹刀の使用は認める。竹刀のつるの色は、白・黄・紫のみとする。事前に柄革に学校名と氏名を記入し、他の大会の合格シール等はずしておくこと。
- 7 つばの大きさは直径 9 cm以下とし、色は革色のもの（白色も可）を使用する（絵付きのものは装着の状況による）。
- 8 突きおよび上段の構え、二刀は禁止する。
- 9 服装は、剣道着および袴を着用し、たれの前に学校名「中」（横）、姓（縦）を黒または紺に白文字で記入する。剣道着のそで口に学校名以外の名前の刺繍の入っている剣道着の着用は認めない（関係のないワッペン等の着用も認めない）。
- 10 面ひもの長さは結び目より 40 cm以内とする。
- 11 サポーター等（足袋・テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出た上で使用する。また、肘や膝などに付ける物を足に使用したり、ゴムや革及びすべり止めを底に貼った物の使用は禁止とする。指先単独のテーピングは届け出は不要。届け出と違う物を使用した者は、替えさせる。
- 12 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
- 13 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する（通常とは面金前部が銀色、面縁革の色が外側黒、内側朱のもの）。アイガード・ポリカーボネット面は認める。
- 14 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。
- 15 選手は試合及び練習において「面マスク」と面内に装着する「シールド」の着用を必須とする。

剣道 団体（男子）

男子決勝戦 第1試合場

第1試合場

第2試合場



左が赤

第1試合場

①男子一回戦 三間 — 宇南
②男子決勝戦 —

左が赤

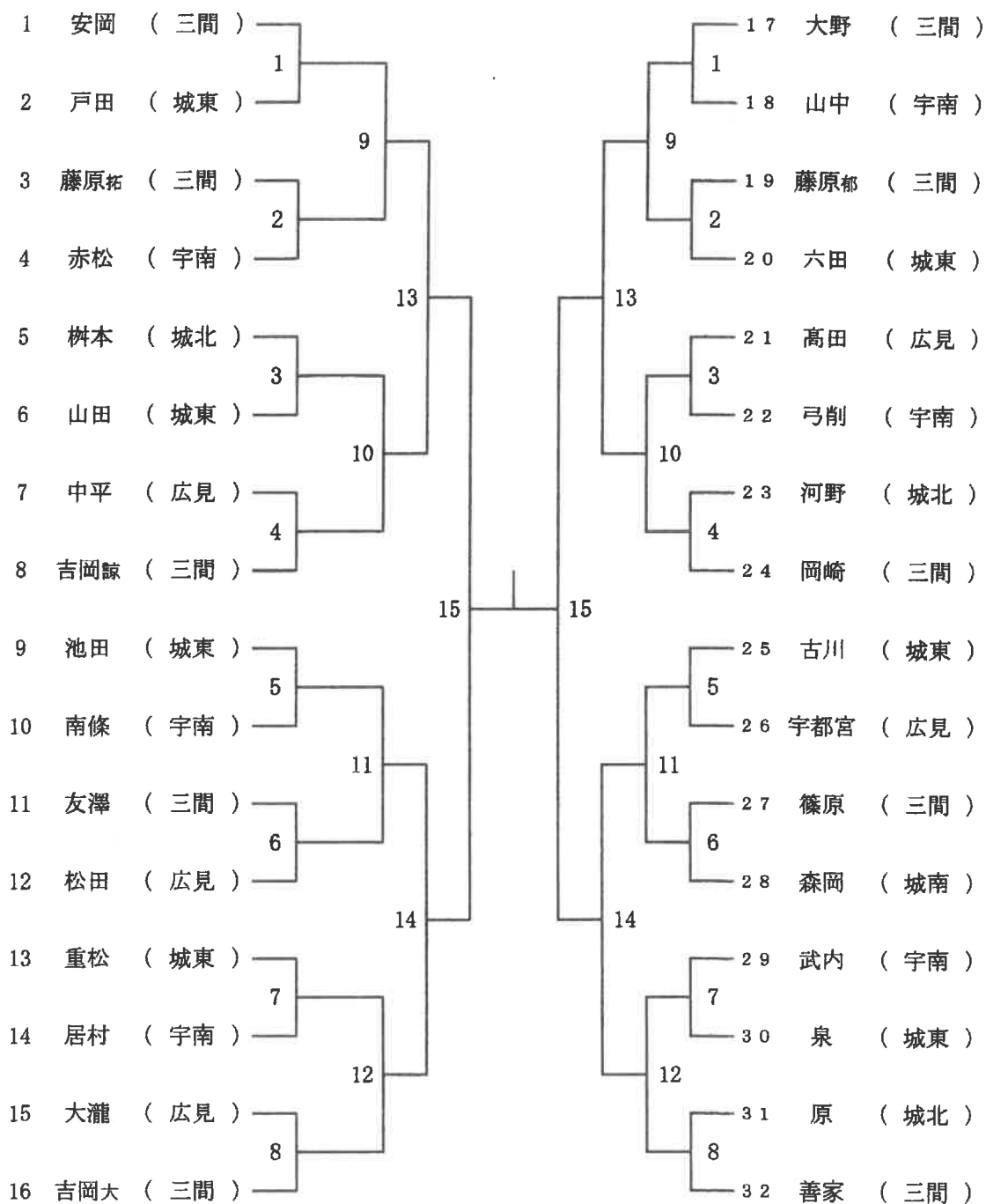
第2試合場

①男子一回戦 城北 — 広見
②男子二回戦 城東 — ①の勝者
③女子決勝戦 宇南 — 城南

剣道 団体（女子）

女子決勝戦 第2試合場





3位決定戦

15の敗者

()

赤

()

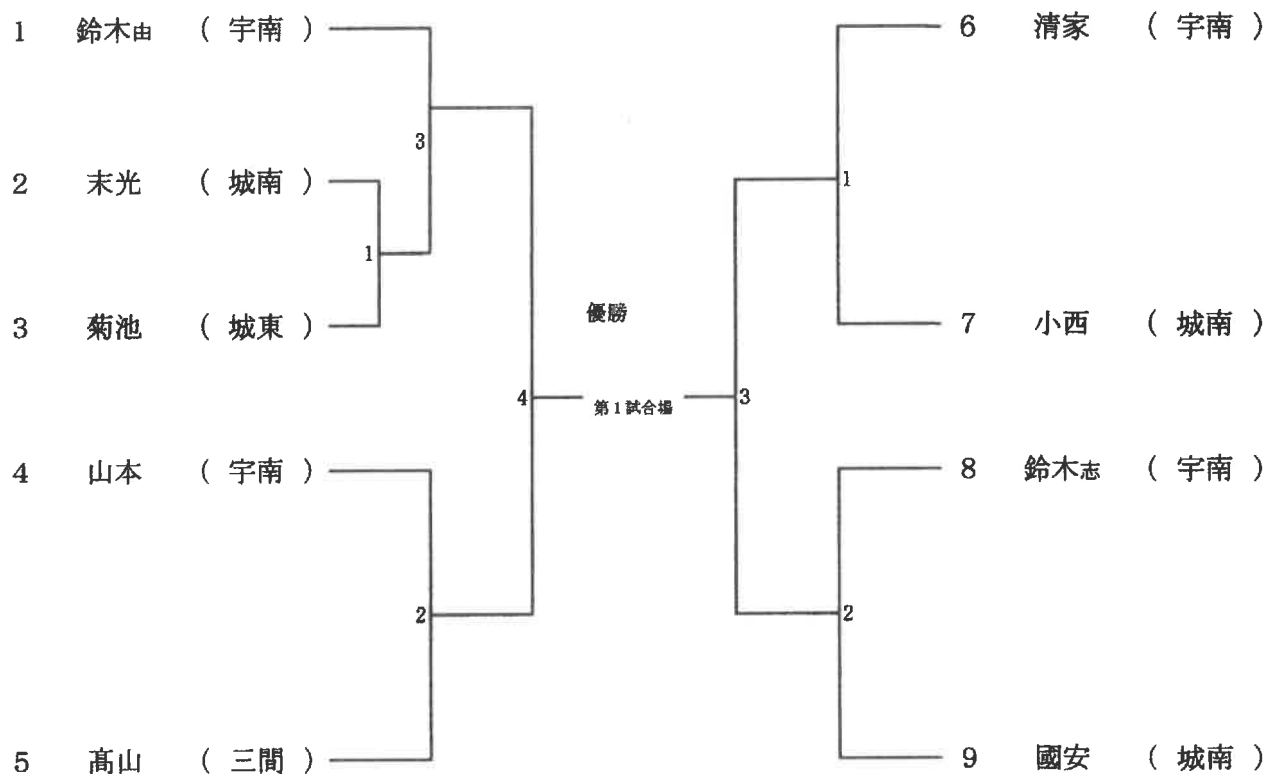
15の敗者

白

剣道 個人（女子）
第1試合場

上が赤

第2試合場



3位決定戦

第1試合場
4の敗者



第2試合場
3の敗者

赤

白

体操競技

- 競技責任者 山口 留美 (城北)
 ○ 会場責任者 山口 留美 (城北)
 ○ 審判長 山口 留美 (城北)
 ○ 審判員 東海林慎介 (県体協) 長山 愛 (県体協) 山口 直子 (県体協)
 山下 厚順 (県体協)
 ○ 運営員 毛利 明美 (津島) 東海林千織 (県体協)

○ 競技方法

- 1 男女とも、自由演技のみを実施する。
- 2 1チームは3～4名で編成し、その他に補欠1名を認め、学校単位とする。また、団体と個人を兼ねることはできない。
- 3 団体総合は、3種目（男子あん馬、女子段違い平行棒を除く）の自由演技とする。
- 4 個人総合は、4種目の自由演技とする。

○ 競技規定

- 1 男子は、日本体操協会制定2017年版男子採点規則、2017年制定・2018年版中学校適用規則を適用する。
- 2 女子は、日本体操協会制定2017年版女子採点規則・変更規則Ⅰ、女子体操競技情報最新版を適用する。

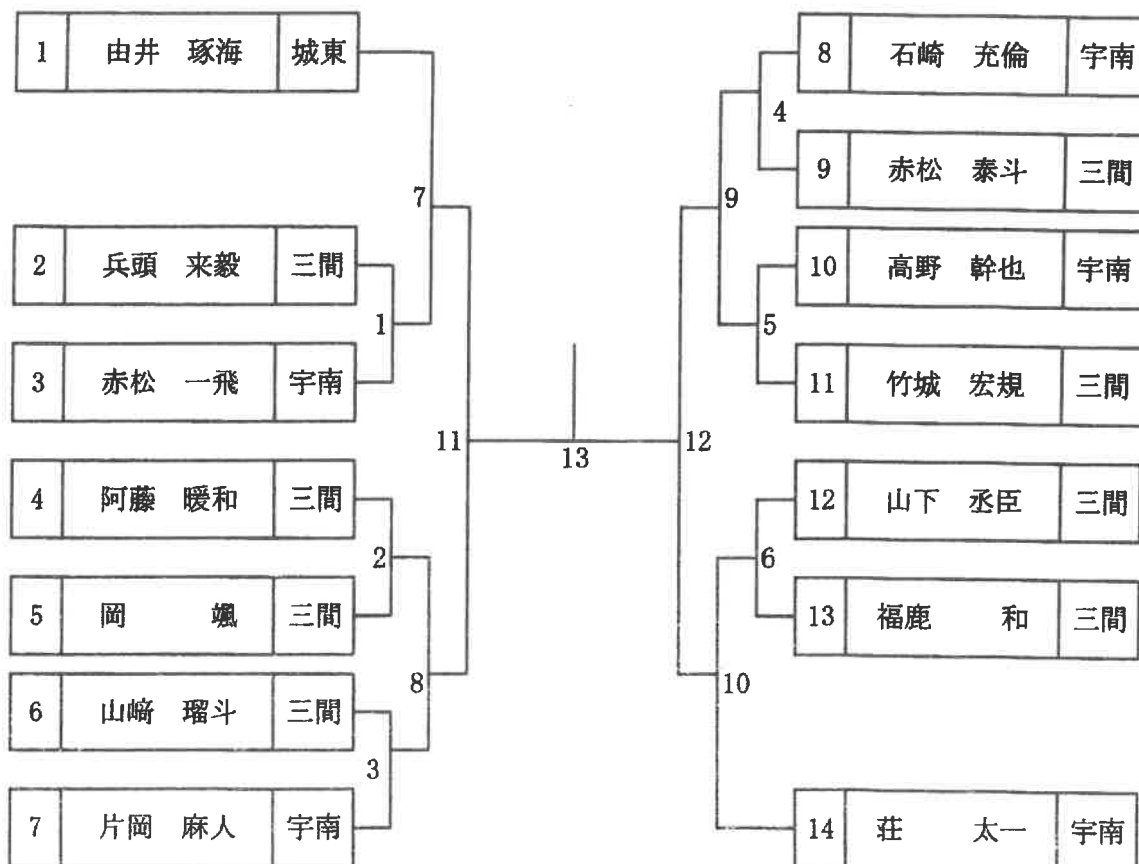
【女子】

校名	氏名	番号	跳馬		段違い平行棒		平均台		ゆか		計	個人総合 順位	団体 順位
			得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位			
城北	遠山 莉子	91											
	齋藤菜々美	92											
	宮崎わかな	93											
	吉岡 彩姫	94											
	チーム内ベスト3												
城北	池田 結	191											
津	長山 美優	181											
島	橋本 七海	182											

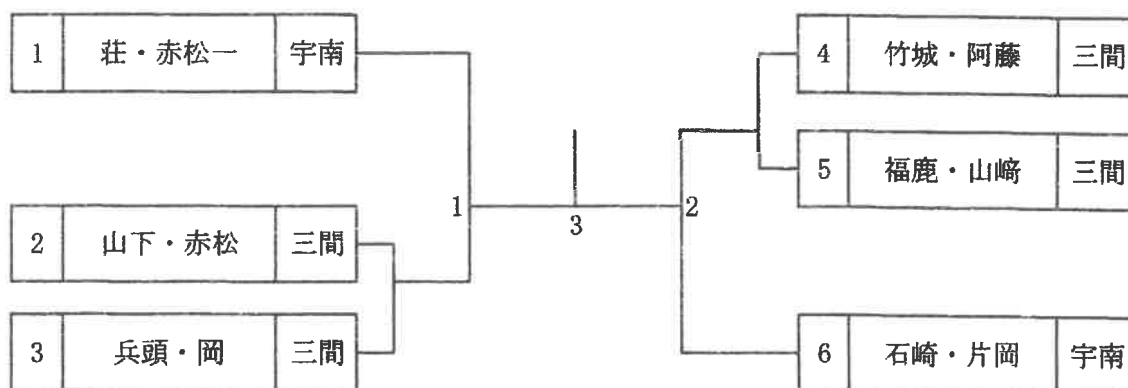
テ ニ ス

- 競技責任者 市橋 明子（三 間）
- 会場責任者 市橋 明子（三 間）
- 審 判 長 市橋 明子（三 間）
- 審 判 員 清岡 幸一（宇テ連） 赤松 拓也（宇テ連） 井本 純生（宇テ連）
- 運 営 員 市橋 明子（三 間）
- 参 加 規 程
 - 1 団体戦は、同一校の選手7名以上10名以内と監督またはコーチ1名で構成する。
 - 2 個人戦シングルスは、各校12名以内とする。
 - 3 個人戦ダブルスは、同一校の選手2名で構成し、各校6ペア以内とする。
- 競 技 方 法
 - 1 個人戦（男女シングルス・男女ダブルス）のみ実施する。
 - 2 1セットマッチ（6ゲームオールタイブレイク）とする。
- 競 技 規 定
 - 1 （公財）日本テニス協会「テニスルールブック」による。
 - 2 審判は、SCU（ソロチェアアンパイア）を原則とする。
 - 3 試合球は、ダンロップ・スリクソンとする。
 - 4 服装は、上下ともテニスウェアとする。（ゼッケン等は必要ない。）
- 競技上の注意事項
 - 1 指示があるまでコートには絶対入らないこと。
 - 2 試合前の練習はサービス4本のみとする。
 - 3 セルフジャッジができない場合は、その時点で失格とする。

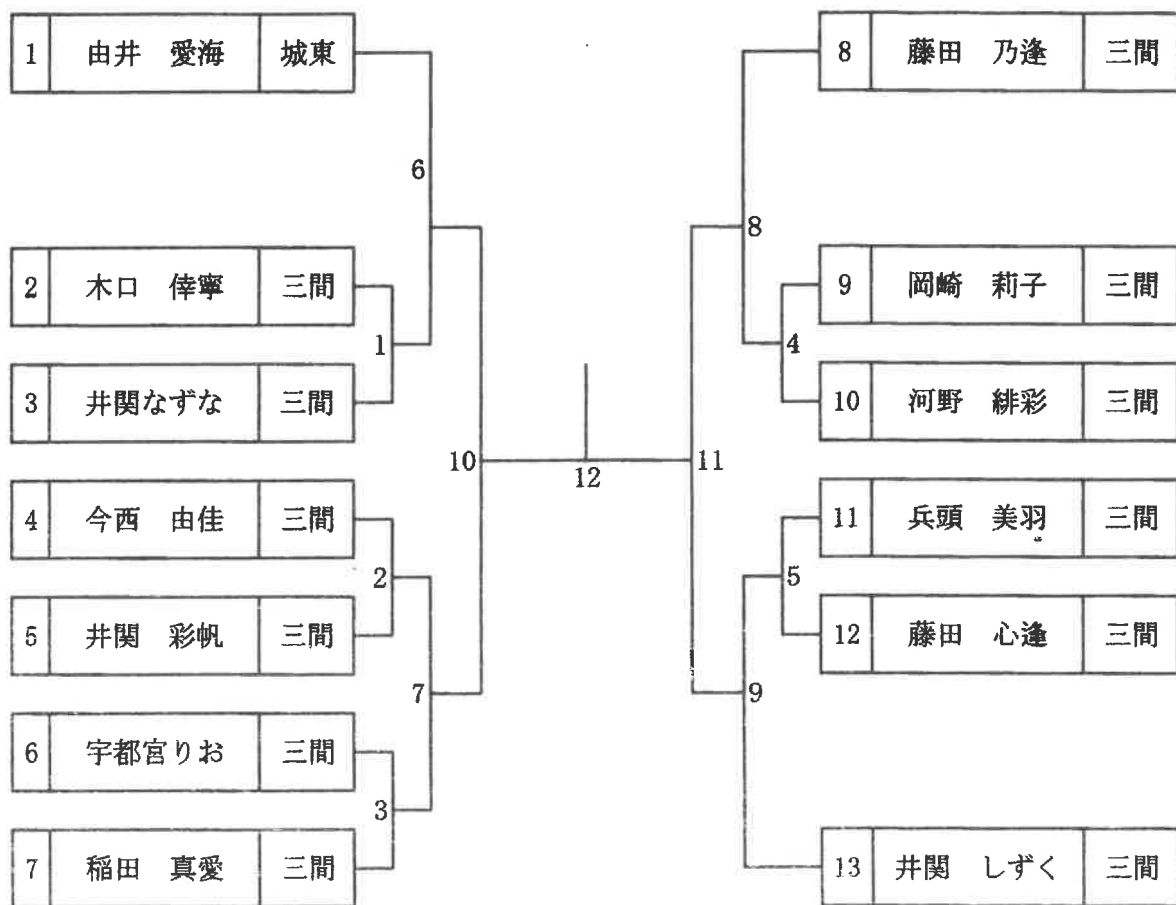
テニス 個人シングルス (男子)



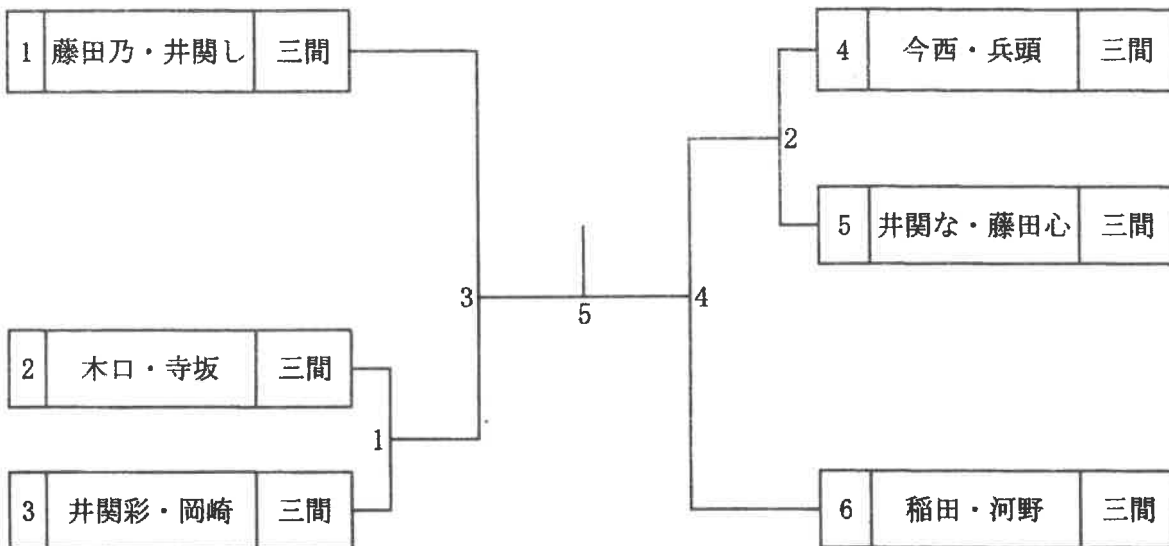
テニス 個人ダブルス (男子)



テニス 個人シングルス (女子)



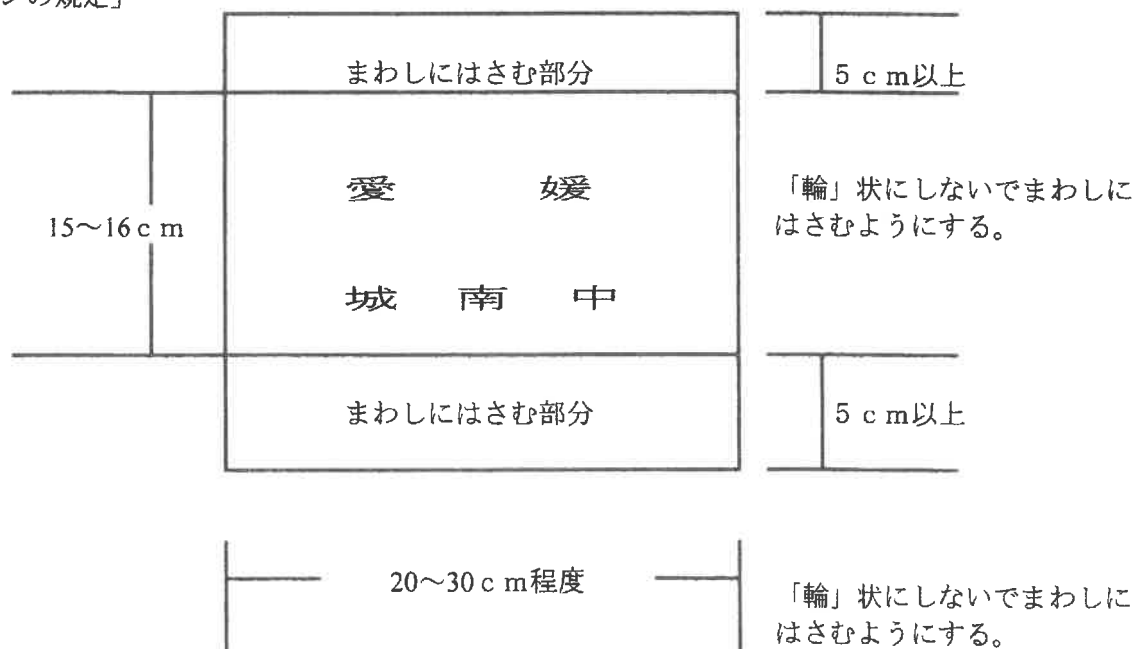
テニス 個人ダブルス (女子)



相 撲

- 競技責任者 松崎 太一（城 南）
- 会場責任者 松崎 太一（城 南）
- 審 判 長 松崎 太一（城 南）
- 審 判 員 鹿島 光広（市相連） 千崎 岩宏（市相連） 松下 功次（市相連）
坂本浅太郎（市相連） 池田比呂己（市相連）
- 運 営 員 田中 吉次
- 補 助 員 城南中学校生徒2名
- 競技方法 団体戦はリーグ戦とする。個人戦は8名以上の場合はゾーンリーグで予選を行い、7名以下の場合は総当たりのリーグ戦とする。
- 競技規定
 - 1 日本相撲連盟競技会規程及び審判規程並びに審判規程補則による。
 - 2 立合
 - (1) 主審の掛声により立つ。待ったはなし。もし故意に待ったをする場合は審判団協議の上、負けとすることがある。
 - (2) 双方とも両手をついて立合う。
 - 3 方法
 - (1) 選手は呼出しに応じ土俵に上り徳俵の内側において立礼を行い、土俵中央に進みそんきょして、主審の合図により仕切に入る。
 - (2) 勝名乗は、そんきょで受ける。
 - 4 団体戦のチーム編成は自由とする。
 - 5 団体戦の順位は、勝敗、勝者数で定める。個人戦の順位は、勝敗で定める。
 - 6 まわしを着用する。アンダーパンツを着用してよい。アンダーパンツは、学校の体操服（短パン）の着用を認める。
 - 7 声援は認めるが、サイドコーチと認められるものは禁止する。
 - 8 まわしの前に必ず校名（ゼッケン）をつける。

[ゼッケンの規定]



※ 字面の太さは、1 cm程度とする。
県名はなくてもよい。

組 合 せ

相撲個人 総当たりリーグ戦

	松岡	矢野	川本	二宮	勝ち	負け	順位
松岡 (城南)		6	4	1			
矢野 (城南)			2	3			
川本 (城南)				5			
二宮 (城南)							

個人戦総当たりリーグ試合順							
順	東		勝敗	決まり手	勝敗	西	
1	松岡	城南				二宮	城南
2	矢野	城南				川本	城南
3	矢野	城南				二宮	城南
4	松岡	城南				川本	城南
5	川本	城南				二宮	城南
6	松岡	城南				矢野	城南

選手一覧

学校名	城南中学校				
監督名	松崎 太一				
コーチ名	田中 吉次				
順 位	氏 名		学 年	身 長	体 重
先 鋒	矢野 雄晟		3	157	73
中 堅	川本 陸仁		3	174	67
大 将	松岡 信吾		3	164	67
補 員	二宮 充梧		1	162	60
補 員					

歴代優勝校

競技	バレーボール		バスケットボール				卓球		ソフトテニス		軟式野球		ソフトボール		サッカー		柔道		剣道		体操競技		テニス		相撲		陸上競技		水泳競技	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	共	女	共	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
回																														
1	城東	吉田	宇南	吉田	宇南	城東	城北	津島	城東	城北	宇和海	城南	宇南	城北	城南	津島	城東	城南	城北	津島			津島	吉田	吉田	城北	吉田			
2	松野	宇南	城東		城東	宇南	城東	津島	城南	城東	城北	城東	津島	津島	城東	城南	城北	城北			津島	吉田	吉田	吉田	宇南					
3	松野	吉田	城東		宇南	城東	津島	広見	城東	宇和海	城北	城東	津島	城北	城東	広見	津島	城北			津島	吉田	城東	宇南	宇南					
4	松野	吉田	城東		城東	城東	津島	津島	城南	宇和海	城北	城東	城北	城北	三間	広見	津島	城北			津島	吉田	城南	宇南	宇南					
5	松野	城北	城東		城東	吉田	広見	日吉	城北	津島	城北	宇南	城北	城北	三間	広見	津島	城北			津島	城北	宇南	宇南	城東					
6	松野	吉田	宇南		城南	城北	広見	日吉	三間	城南	城北	宇南	城北	城北	三間	三間		城北			津島	城北	吉田	城東	吉田					
7	松野	吉田	宇南		宇南	津島	広見	日吉	城南	津島	城北	宇南	城北	城北	三間	三間		城北			津島	吉田	城東	宇南	吉田					
8	松野	吉田	宇南		宇南	城北	津島	日吉	広見	城東	城北	城東	吉田	城北	広見	三間	城北	城北			津島	吉田	城東	宇南	吉田					
9	松野	吉田	城東		城東	城東	広見	城南	城南	広見	城北	城北	城東	城北	三間	三間	城北	城北			城南	吉田	吉田	宇南	吉田					
10	松野	宇南	城東		城東	城北	広見	日吉	日吉	広見	城北	城北	津島	城北	三間	広見	城北	城北		三間	津島	津島	吉田	宇南	吉田					
11	松野	吉田	城東		城東	城北	広見	日吉	城南	三間	城北	城東	津島	城北	広見	三間		城北	三間	三間	津島	城北	宇南	宇南	宇南					
12	松野	城北	宇南		城東	津島	吉田	日吉	日吉	広見	城北	城東	津島	三間	吉田	三間		城北	三間	三間	城南	城北	宇南	宇南	城北					
13	城東	宇南	城東		城東	広見	城北	日吉	日吉	広見	城北	宇南	津島	三間	広見	三間		城北	三間	三間	城南	城南	宇南	宇南	宇南					
14	松野	宇南	城東		城東	津島	津島	日吉	日吉	広見	城北	城東	津島	三間	三間	宇南		城北	三間	三間	城南	吉田	宇南	吉田	宇南					
15	— 中止 —																													
16																														

